

資料

丸亀市社会教育委員名簿

第4次生涯学習推進計画の進捗状況

丸亀市生涯学習推進計画に関するアンケート調査報告書

丸亀市社会教育委員名簿

【任期 令和5年7月1日から令和7年6月30日まで】

区分	氏名	備考
社会教育の関係者	金澤 泰宏	丸亀市PTA連絡協議会 会長
	久米井 直人	丸亀市子ども会育成連絡協議会 副会長
	宮武 恵美子	郡家婦人会 会長
学校教育の関係者	倉田 眉貴子	学校法人倉田学園理事長 大手前丸亀中学・高等学校校長
	白川 常俊	丸亀市立学校長会 副会長（綾歌中学校長）
家庭教育の向上に資 する活動を行う者	高橋 勝子	認定 NPO 法人 さぬきっずコムシアター 理事 長
	藤田 裕子	元飯野保育所長 元幼保運営課指導主事
学識経験者	大村 隆史	香川大学地域人材共創センター講師
	塩田 康広	城坤コミュニティ会長
	中俣 保志	香川短期大学 経営情報科 教授

【任期 令和7年7月1日から令和9年6月30日まで】

区分	氏名	備考
社会教育の関係者	金澤 泰宏	丸亀市PTA連絡協議会 会長
	秋山 いとこ	丸亀市子ども会育成連絡協議会 MJC 担当
	引田 真人	岡田コミュニティセンター 所長
学校教育の関係者	大村 隆史	香川大学地域人材共創センター 講師
	白川 常俊	丸亀市立学校長会 副会長（綾歌中学校長）
家庭教育の向上に資 する活動を行う者	三井 喜代子	認定NPO法人さぬきっずコムシアター 理事
	逸見 美智子	元あやうたこども園 園長
学識経験者	鈴木 裕美	香川大学医学部衛生学 助教
	西谷 清美	四国学院大学社会福祉学部 教授
	荻上 健太郎	東京学芸大学 学長補佐



第4次生涯学習推進計画の進捗状況

基本目標	基本施策	指標項目	基準値 (令和2年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値 (令和7年度)
1	(1)	オンライン講座実施数(件)	0	3	1	1	5
		主な社会教育施設(注1)利用者数(人)	381,244	492,076	505,017	511,939	400,000
	(2)	ジュニアリーダーが新たに養成された人数(延べ)(人/年)	5	9	19	21	25
		市民学級の参加者数(人)	461	618	750	792	600
(3)	地域いきいき講座の参加者数(人)	3,351	7,533	9,835	9,970	8,000	
2	(4)	生涯学習人材バンク登録者数(人)	0	55	51	45	100
		NPO、企業、大学等による講座の企画・提案講座数(年/件)	5	7	6	6	6
	(5)	地域コーディネーター養成者数(年/人)	12	9	3	10	12
		生涯学習クラブ登録団体数	354	328	319	310	360
3	(6)	地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に係る研修会参加者数(年間/人)	0	24	8	6	30
	(7)	家庭教育事業参加者数(人)	3,125	1,794	1,999	2,218	3,500
		少年団指導者研修会参加者数(人)	62	50	44	43	80

※(注1) 主な社会教育施設

施設名	利用者数
生涯学習センター(児童館除く)	99,748人
飯山総合学習センター	36,308人
東小川公民館	6,656人
図書館	121,424人
コミュニティセンター	247,803人

丸亀市生涯学習推進計画に関するアンケート 調査報告書

令和7年 8月

丸亀市



目次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査の方法等	1
3 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 回答者の属性	2
2 日頃の生活について	7
(1) ゆとりの時間の有無	7
(2) ゆとりの時間の過ごし方について	8
(3) ゆとりの時間に関する満足度	9
(4) ゆとりの時間に満足していない理由	10
3 悩みや不安について	11
(1) コミュニケーションの場や相手について	11
(2) 悩みや不安の有無と内容	13
(3) 孤独感の程度	15
4 生涯学習について	16
(1) 生涯学習の意義と必要性	16
(2) 生涯学習の内容	18
(3) 生涯学習をする目的	20
(4) 生涯学習の機会	21
(5) 生涯学習をしていない理由	23
(6) 生涯学習に関する情報について	24
(7) 生涯学習に関して必要な取り組み	27
5 地域活動について	28
(1) 地域社会と生涯学習	28
(2) 地域活動への参加について	30
(3) 地域学校協働活動について	32
(4) 学校以外の場で子どもに学ばせたいこと	34
6 家庭教育について	35
(1) 家庭教育での悩み	35
(2) 利用したい子育て支援	36
(3) 家庭教育・子育てに関して学びたいこと	37
(4) ケアが必要な人への支援	38
7 今後の生涯学習について	39
(1) 「丸亀市民学級」の受講経験	39
(2) 理想的な講座形式	41
(3) 施設運営の経費負担について	42

I. 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第5次丸亀市生涯学習推進計画」の策定に向け、生涯学習の現状や皆さまが感じられていること等をお聞かせいただき、次期計画づくりの基礎資料とするために実施しました。

2 調査の方法等

調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民
調査実施期間	令和7年7月1日～7月22日
調査方法	郵送による配布 郵送回答／WEB（インターネット）回答
調査数	3,000人
回収数（率）	830人（27.7%）

3 報告書の見方

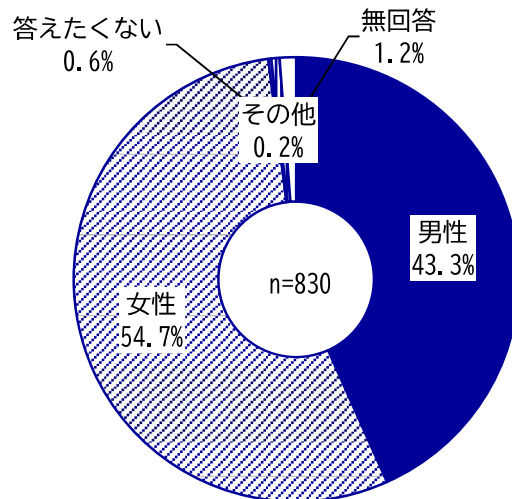
- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることもある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。また、グラフの数値が0.0%の場合は表記を省略している。

II. 調査結果

1 回答者の属性

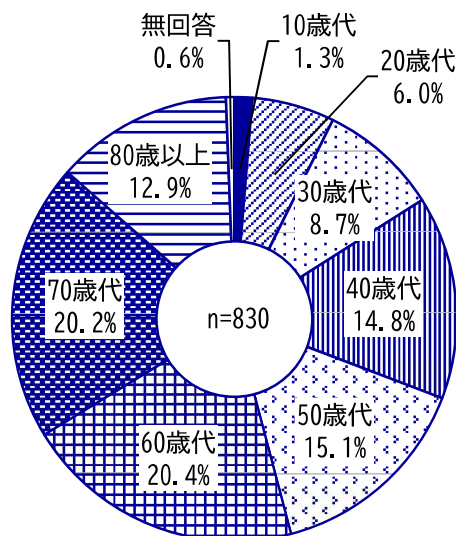
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

➤ 「女性」が54.7%、「男性」が43.3%となっています。



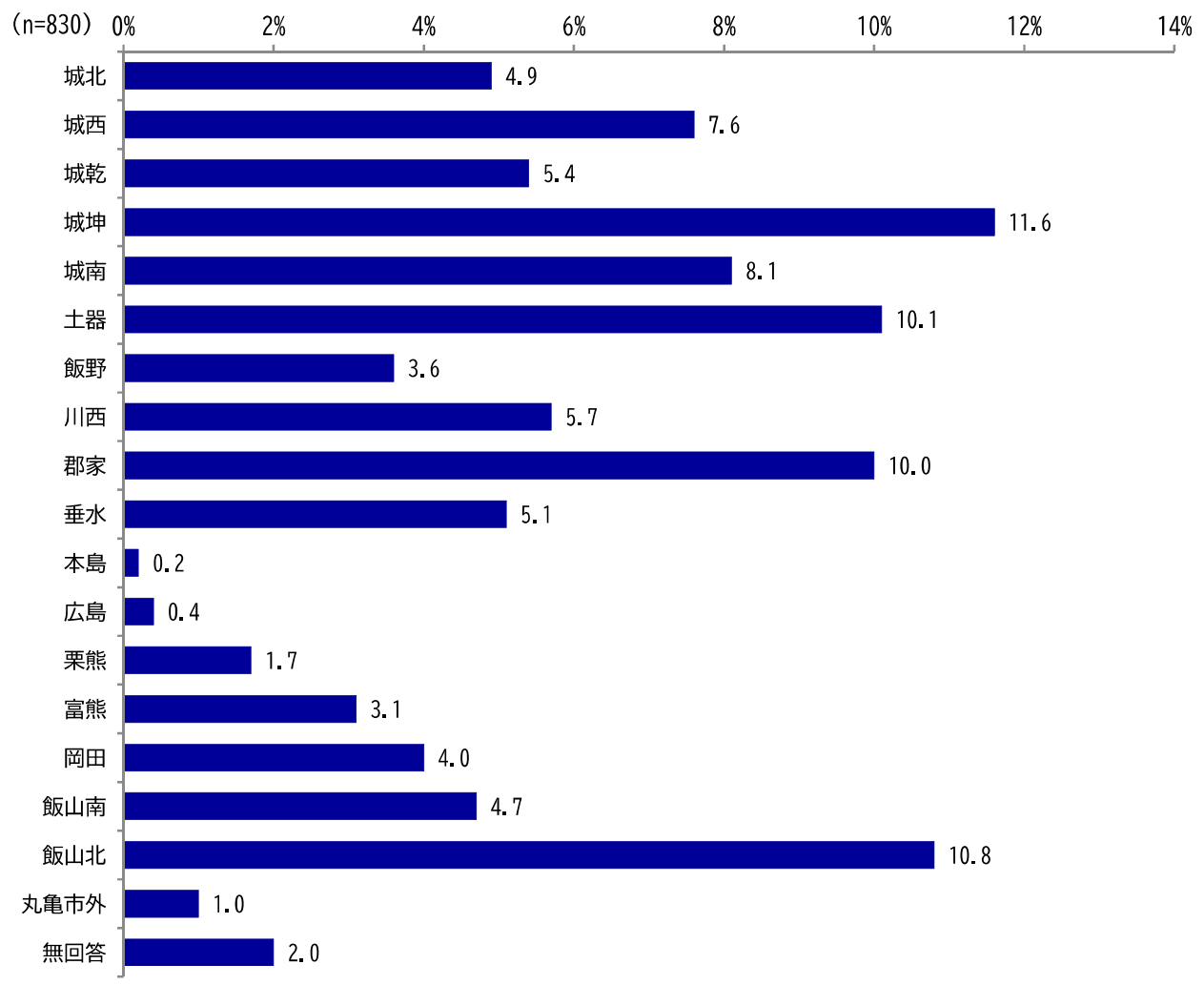
問2 あなたの年代をお答えください。(1つに○)

➤ 「60歳代」が20.4%で最も高く、次いで「70歳代」が20.2%、「50歳代」が15.1%と続いています。



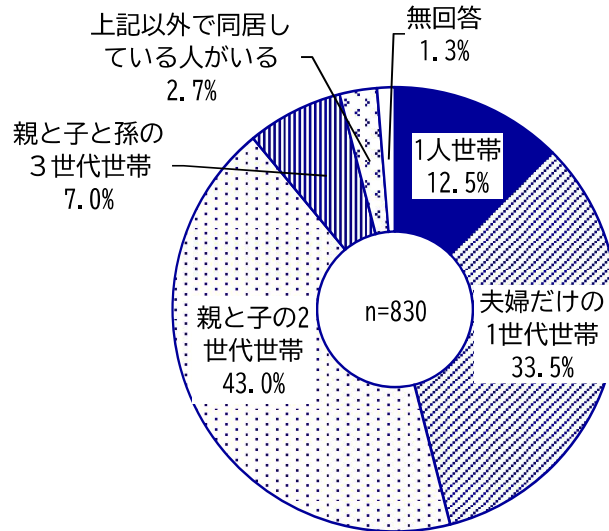
問3 あなたの住んでいる地域をお答えください。(1つに○)

➤ 「城坤」が11.6%で最も高く、次いで「飯山北」が10.8%、「土器」が10.1%と続いています。



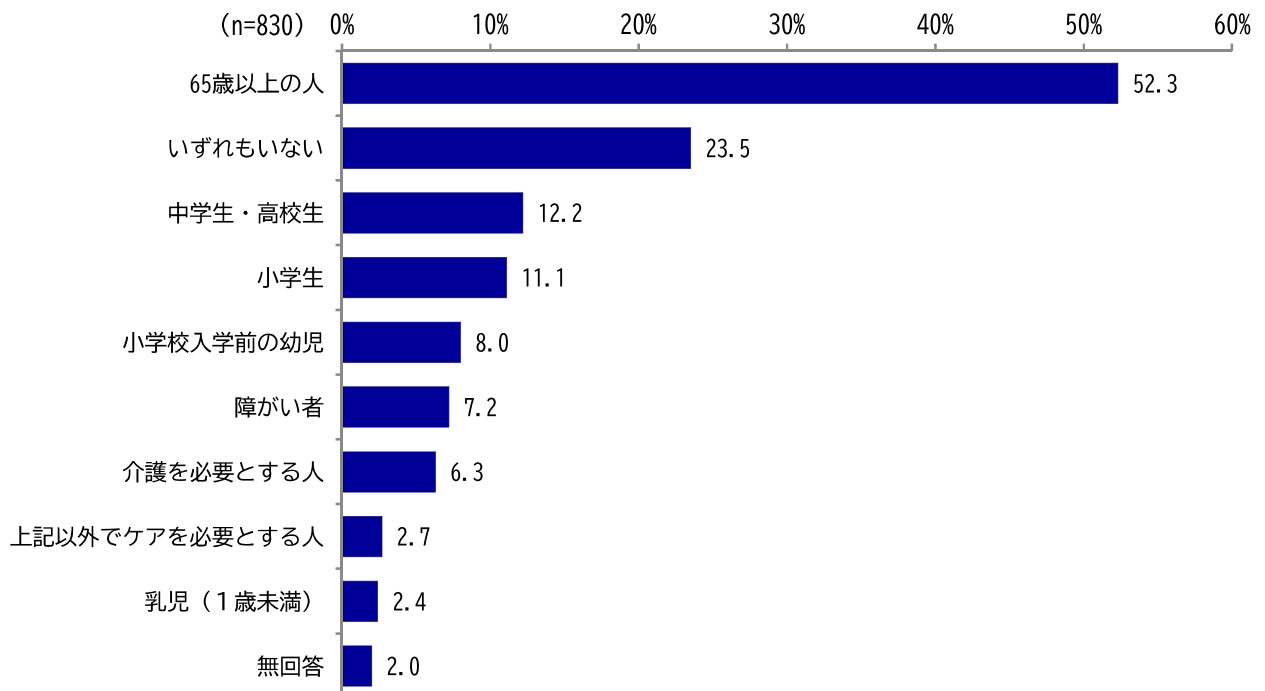
問4 あなたの世帯（同居人含む）構成をお答えください。（1つに○）

➤ 「親と子の2世代世帯」が 43.0%で最も高く、次いで「夫婦だけの1世代世帯」が 33.5%、「1人世帯」が 12.5%と続いています。



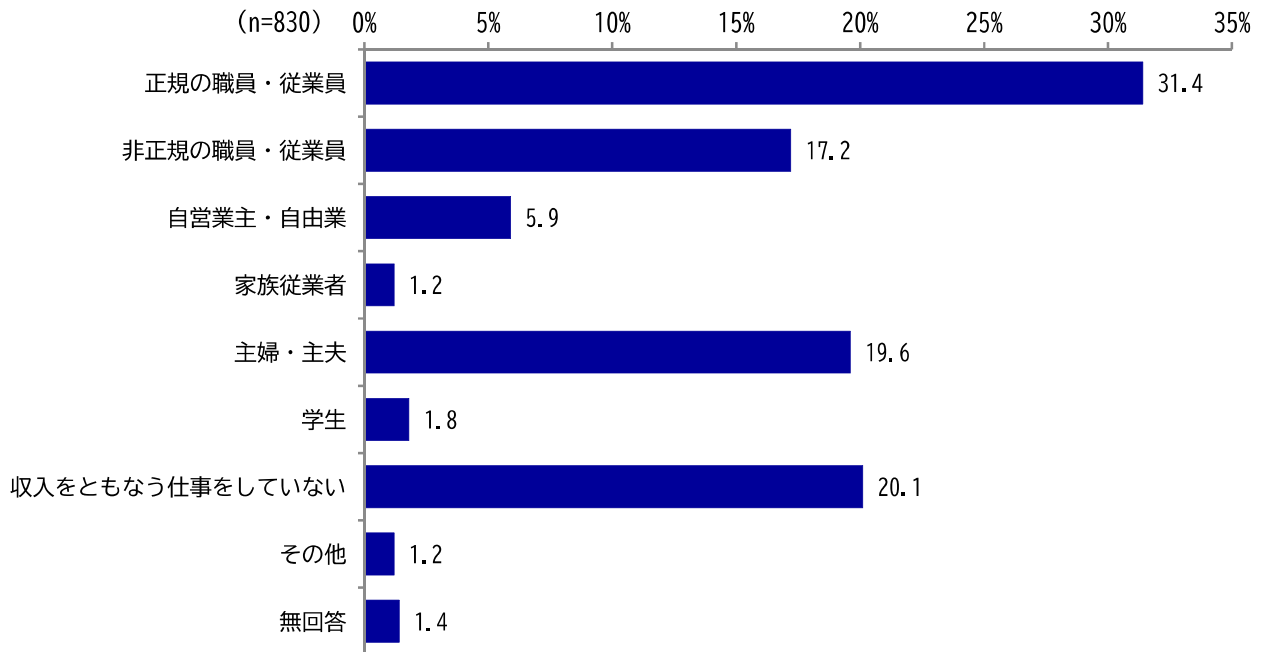
問5 あなたもしくは同居している家族の中に次のような方はいますか。（当てはまるものすべてに○）

➤ 「65歳以上の人」が 52.3%で最も高く、次いで「いずれもいない」が 23.5%、「中学生・高校生」が 12.2%と続いています。



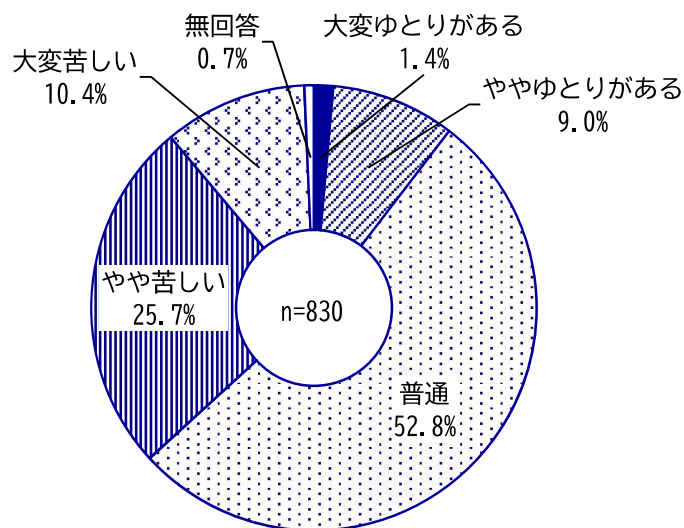
問6 あなたのお仕事についてお答えください。(1つに○)

- 「正規の職員・従業員」が 31.4%で最も高く、次いで「収入をともなう仕事をしていない」が 20.1%、「主婦・主夫」が 19.6%と続いています。



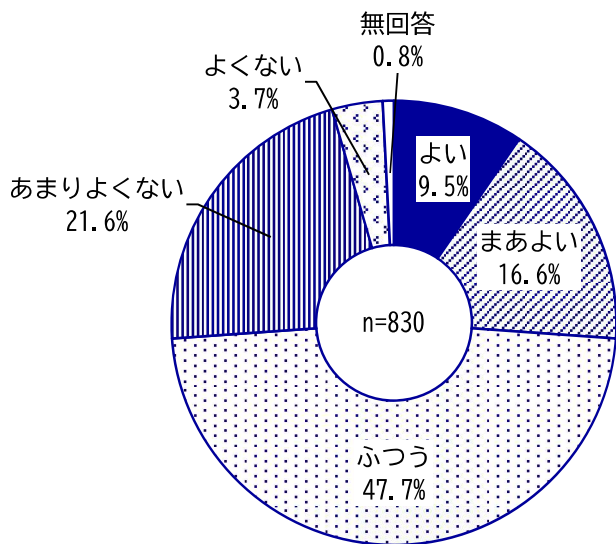
問7 あなたの現在の家計状況について教えてください。(1つに○)

- 「普通」が 52.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 25.7%、「大変苦しい」が 10.4%と続いています。
- 「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計は 10.4%、「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計は 36.1%となっており、苦しいと感じている人の割合が 25.7ポイント上回っています。



問8 あなたの現在の心身の健康状態を教えてください。(1つに○)

- 「ふつう」が47.7%で最も高く、次いで「あまりよくない」が21.6%、「まあよい」が16.6%と続いています。
- 「よい」と「まあよい」の合計は26.1%、「あまりよくない」と「よくない」の合計は25.3%となっています。

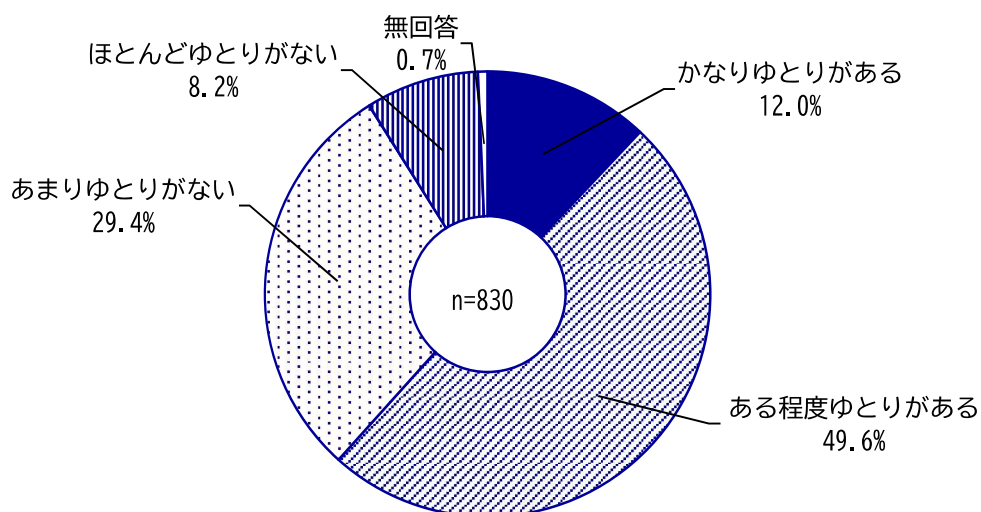


2 日頃の生活について

(1) ゆとりの時間の有無

問 9 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。
(1つに○)

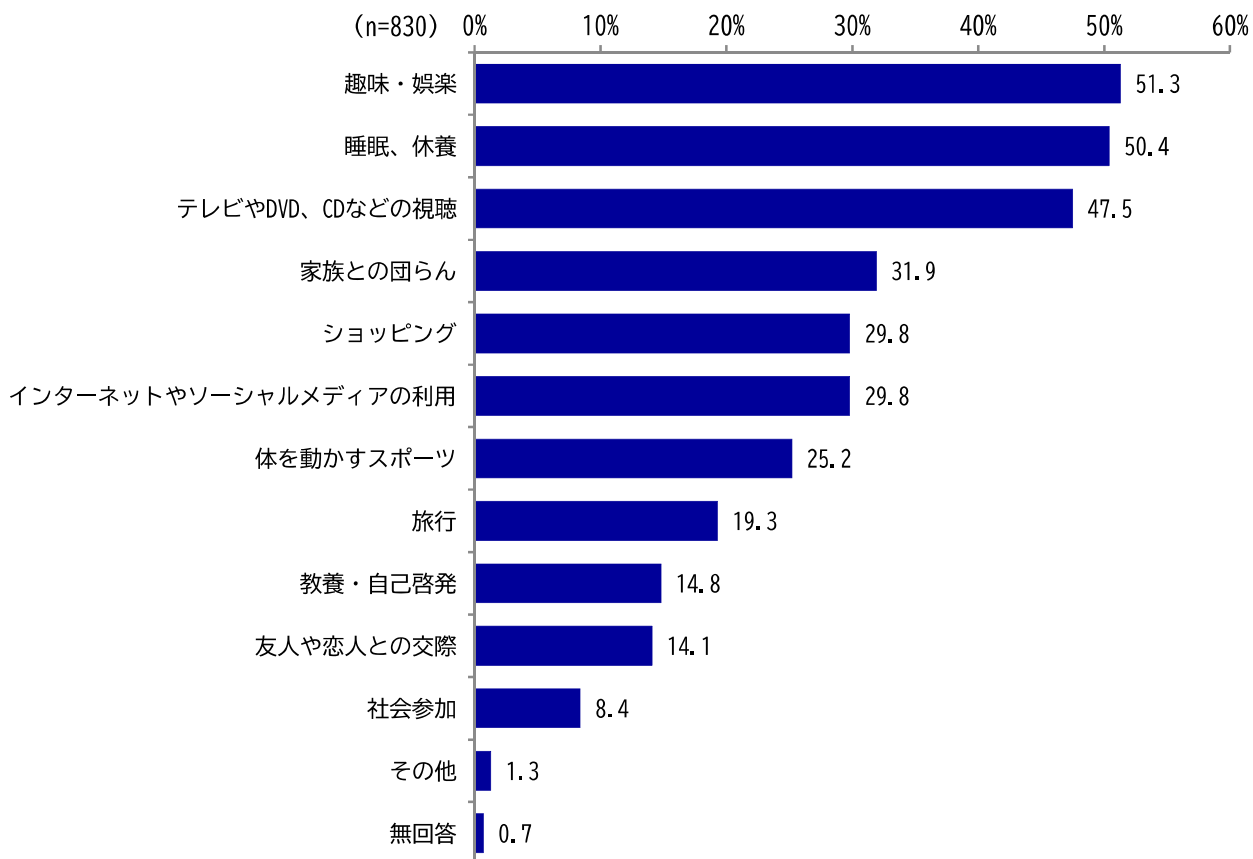
- 「ある程度ゆとりがある」が 49.6%、「あまりゆとりがない」が 29.4%と続いています。
- 「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」の合計は 61.6%、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」の合計は 37.6%となっており、時間のゆとりがあると感じている人が 24.0 ポイント上回っています。



(2) ゆとりの時間の過ごし方について

問10 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間を、どのように過ごしていますか。(当てはまるすべてに○)

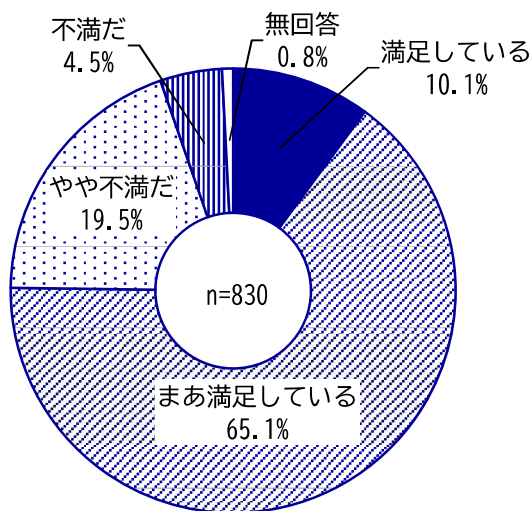
➤ 「趣味・娯楽」が51.3%で最も高く、次いで「睡眠、休養」が50.4%、「テレビやDVD、CDなどの視聴」が47.5%と続いています。



(3) ゆとりの時間に関する満足度

問 11 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間の過ごし方に、どの程度満足していますか。(1つに○)

- 「まあ満足している」が 65.1%、「やや不満だ」が 19.5%と続いています。
- 「満足している」と「まあ満足している」の合計は 75.2%、「やや不満だ」と「不満だ」の合計は 24.0%となっており、満足していると感じている人の割合が 51.2 ポイント大きく上回っています。

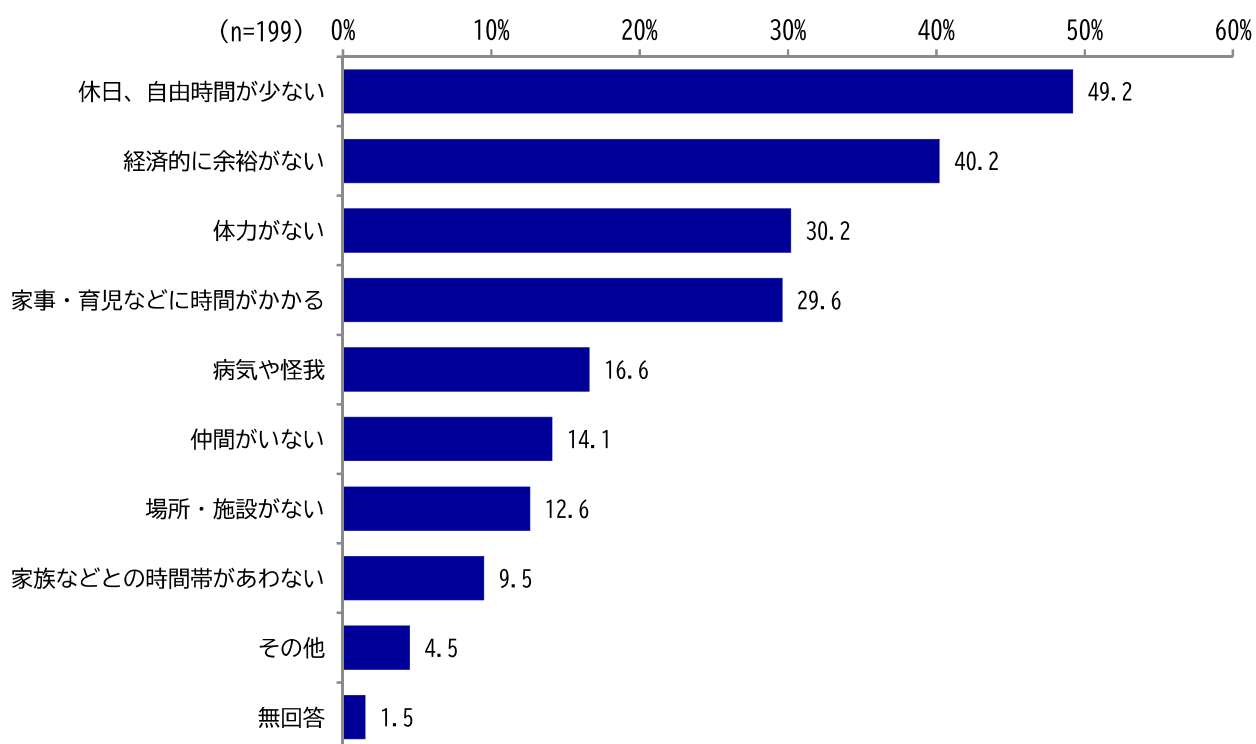


(4) ゆとりの時間に満足していない理由

問 11 で「やや不満だ」、「不満だ」と答えた方におたずねします。

問 12 日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間の過ごし方に満足していない理由は何ですか。(当てはまるすべてに○)

- 「休日、自由時間が少ない」が 49.2%で最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が 40.2%、「体力がない」が 30.2%と続いています。

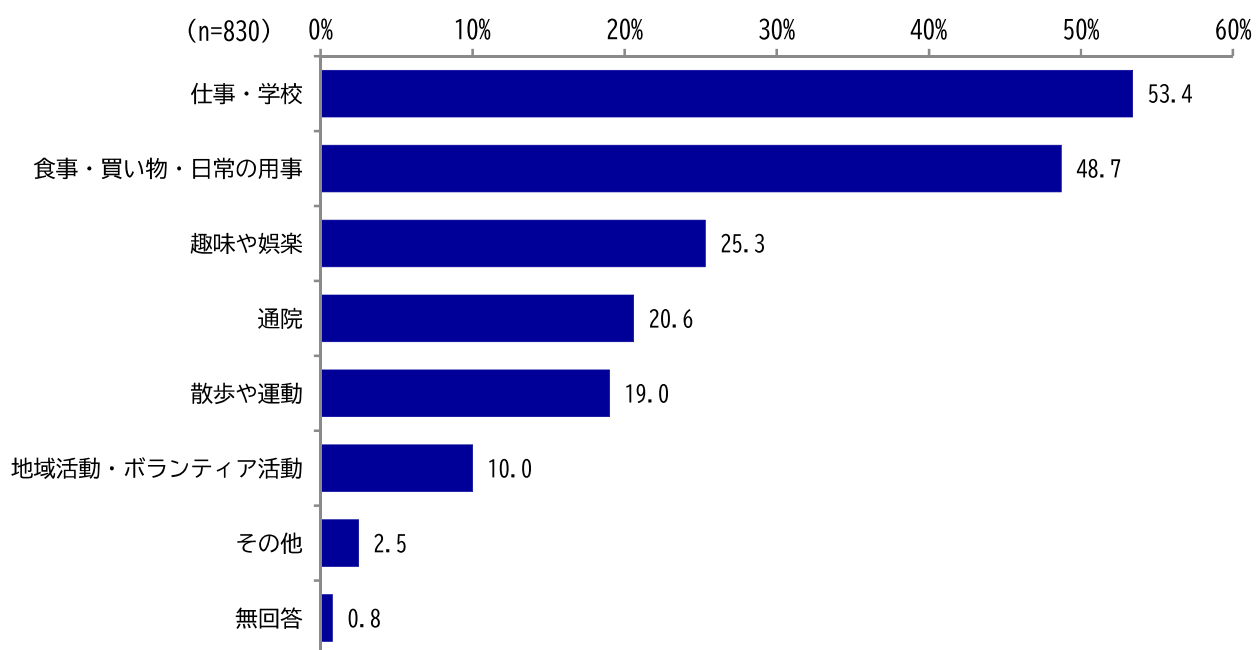


3 悩みや不安について

(1) コミュニケーションの場や相手について

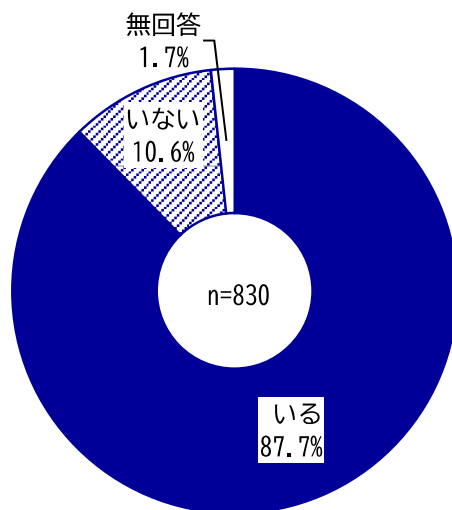
問 13 あなたは、最近1週間で、どのような時に人と会ったり話したりしましたか。(当てはまるすべてに○)

➤ 「仕事・学校」が 53.4%で最も高く、次いで「食事・買い物・日常の用事」が 48.7%、「趣味や娯楽」が 25.3%と続いています。



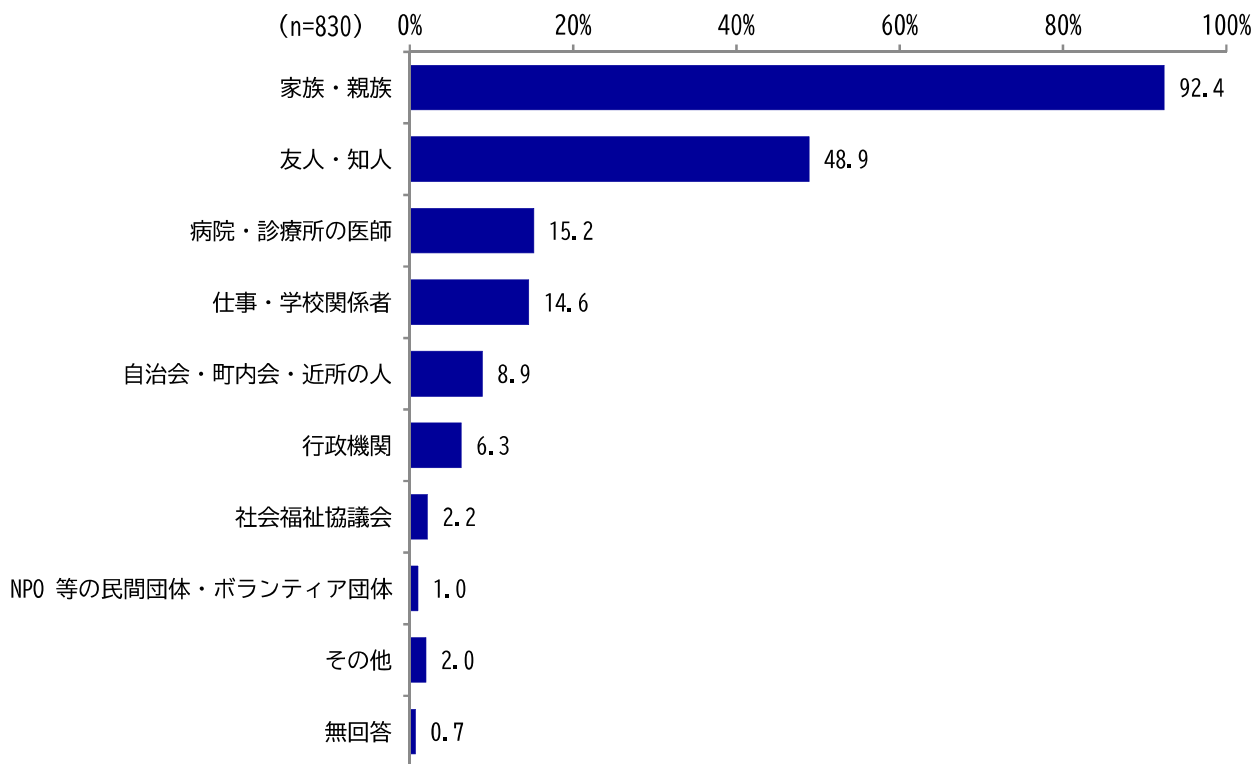
問 14 あなたは日頃、気軽に話せる相手はいますか。(1つに○)

➤ 「いる」が 87.7%、「いない」が 10.6%となっています。



問 15 あなたは、困った時に誰を頼りますか。(当てはまるすべてに○)

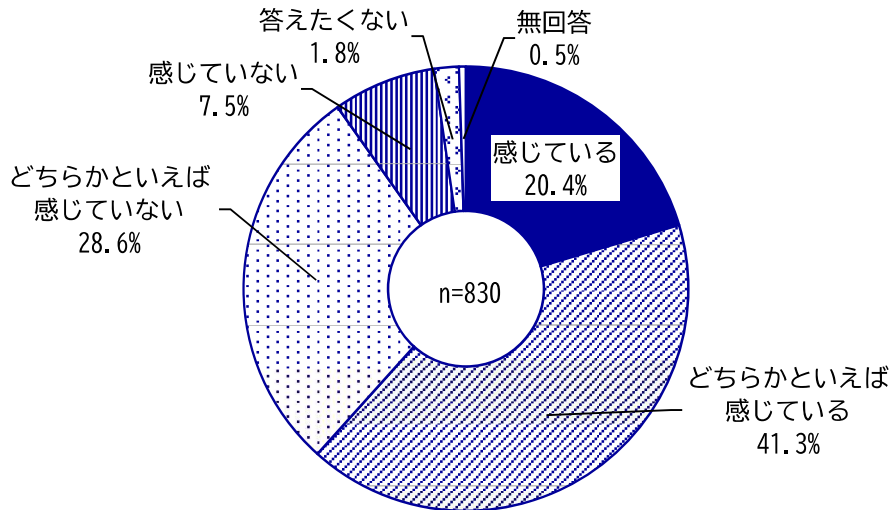
➤ 「家族・親族」が 92.4%で最も高く、次いで「友人・知人」が 48.9%、「病院・診療所の医師」が 15.2%と続いています。



(2) 悩みや不安の有無と内容

問 16 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。(1つに○)

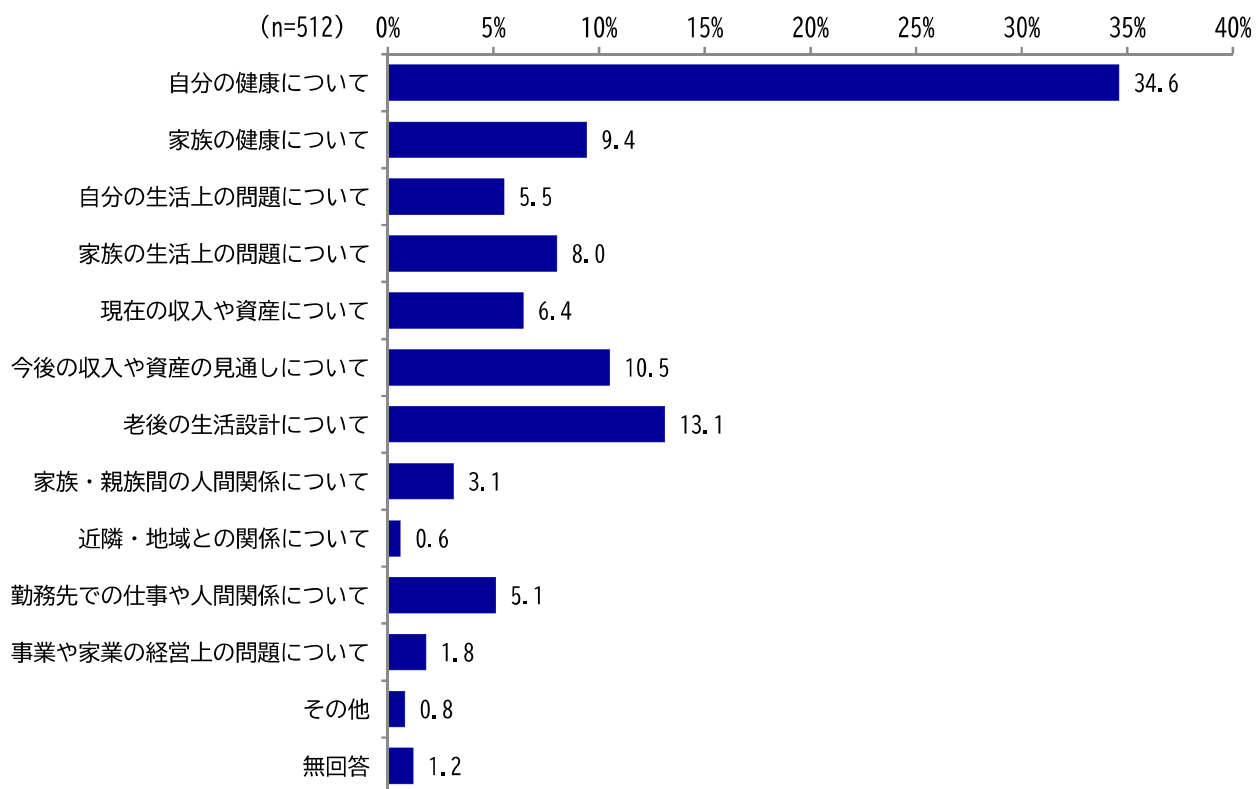
- 「どちらかといえば感じている」が 41.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば感じていない」が 28.6%、「感じている」が 20.4%と続いています。
- 「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は 61.7%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計は 36.1%となっており、悩みや不安を感じている人の割合が、25.6 ポイント上回っています。



問 16で「感じている」「どちらかといえば感じている」と答えた方におたずねします。

問 17 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(1つに○)

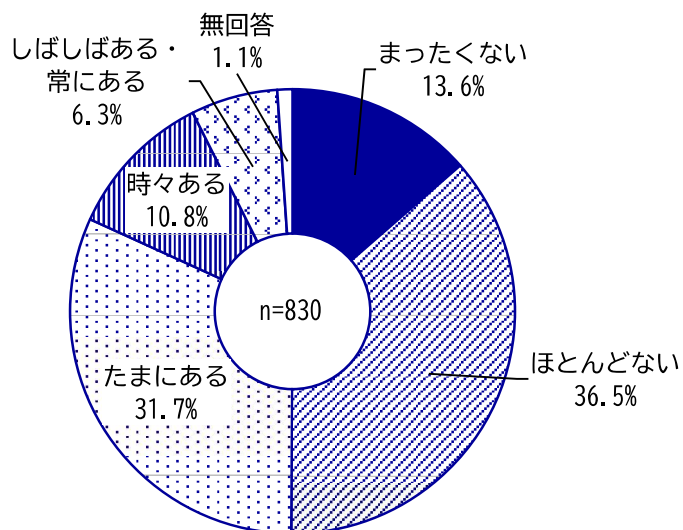
➤ 「自分の健康について」が 34.6%で最も高く、次いで「老後の生活設計について」が 13.1%、「今後の収入や資産の見通しについて」が 10.5%と続いています。



(3) 孤独感の程度

問 18 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

- 「ほとんどない」が 36.5%で最も高く、次いで「たまにある」が 31.7%、「まったくない」が 13.6%と続いています。
- 「まったくない」と「ほとんどない」の合計は 50.1%、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」の合計は 48.8%となっており、孤独であると感じない人が半数を占めています。

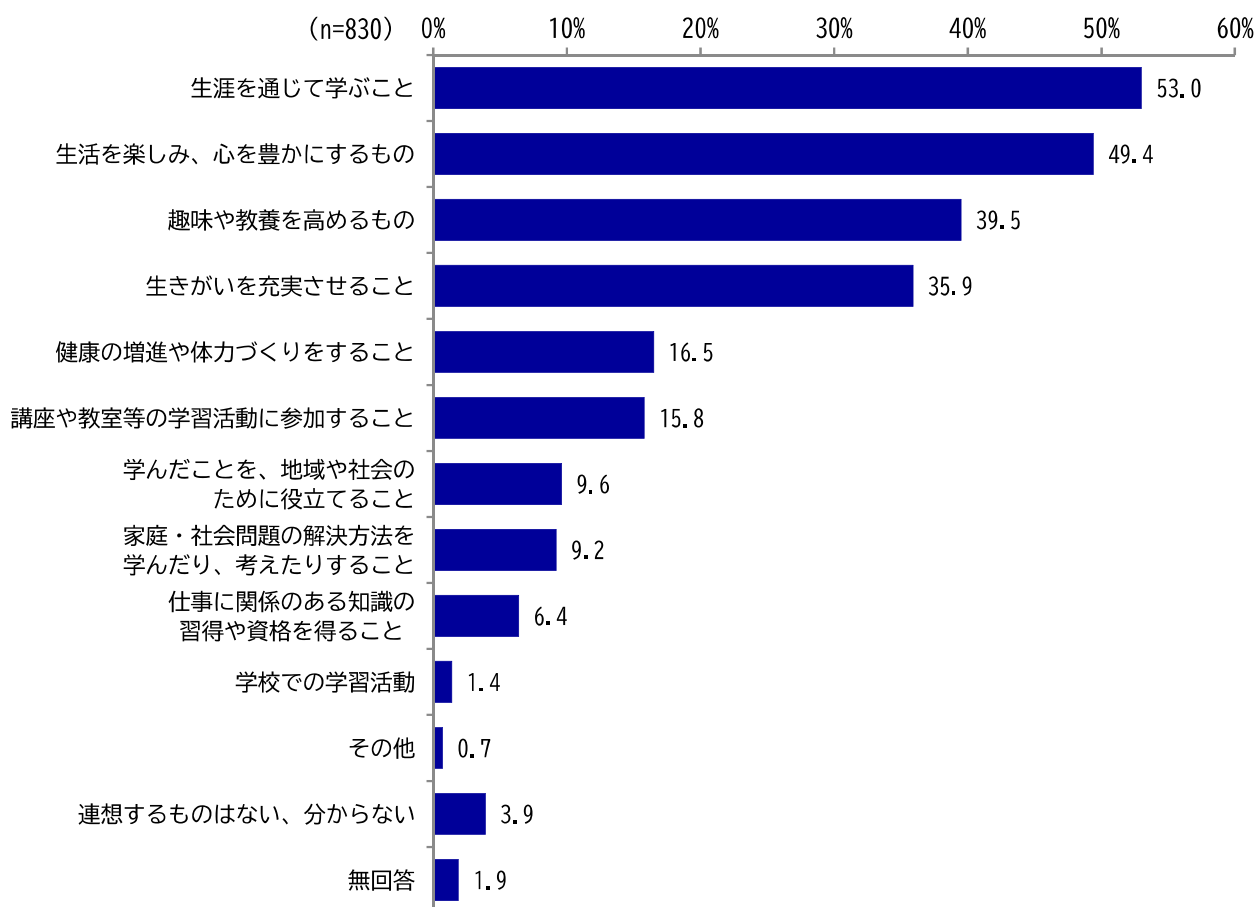


4 生涯学習について

(1) 生涯学習の意義と必要性

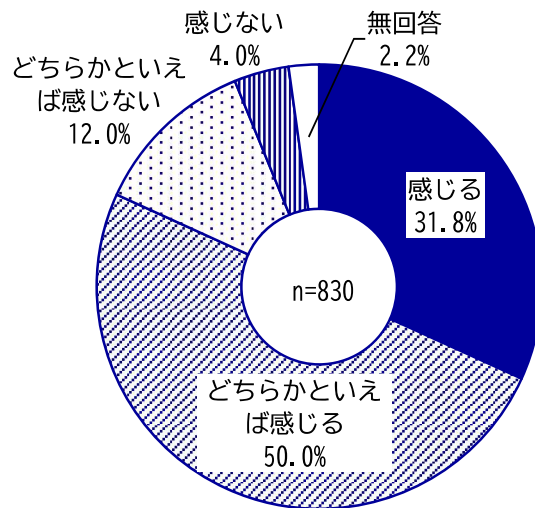
問 19 あなたは、「生涯学習」という言葉から何を連想しますか。(3つまで○)

- 「生涯を通じて学ぶこと」が 53.0%で最も高く、次いで「生活を楽しみ、心を豊かにするもの」が 49.4%、「趣味や教養を高めるもの」が 39.5%と続いています。



問 20 あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。(1つに○)

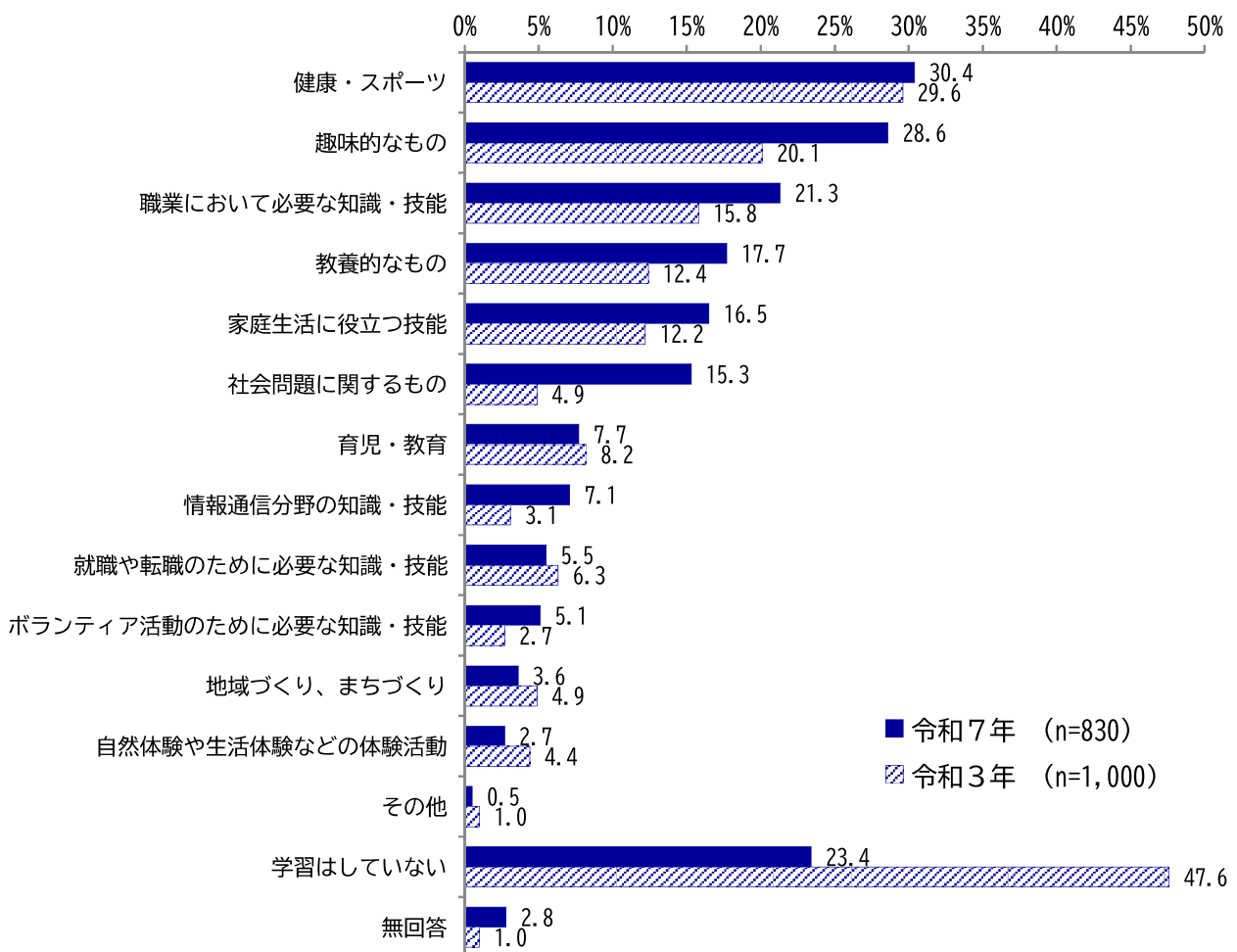
- 「どちらかといえば感じる」が50.0%、「感じる」が31.8%と続いています。
- 「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計は81.8%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」の合計は16.0%となっており、生涯学習の必要性を感じている人の割合が8割以上を占めています。



(2) 生涯学習の内容

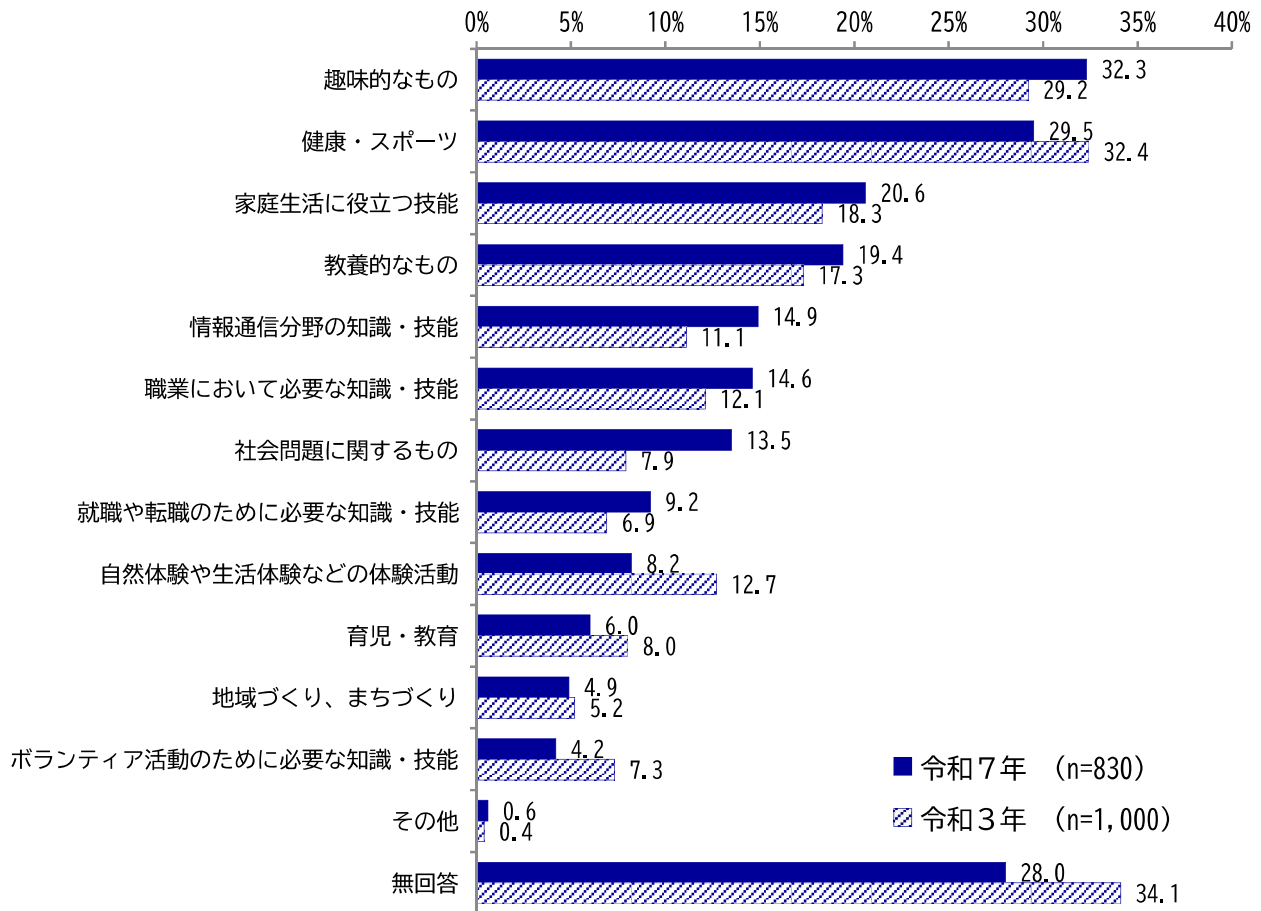
問 21 あなたは、この1年間の間に、何を学習しましたか。(月1日以上程度)(当てはまるすべてに○)

- ▶ 令和7年の調査では、「健康・スポーツ」が 30.4%で最も高く、次いで「趣味的なもの」が 28.6%、「学習はしていない」が 23.4%と続いています。
- ▶ 前回調査と比較すると、「学習はしていない」が 24.2 ポイント減少し、生涯学習を行っている人の割合が増加傾向にあります。
- ▶ 学習の内容の違いをみると、「趣味的なもの」、「職業において必要な知識・技能」、「教養的なもの」、「社会問題に関するもの」が前回調査時から 5.0 ポイント以上増加しています。



問 22 あなたが今後学習したい内容（継続を含む）を上記から3つまで選んで番号をご記入ください。
 ※学習したい内容がない場合は無記入

- 「趣味的なもの」が 32.3%で最も高く、次いで「健康スポーツ」が 29.5%、「家庭生活に役立つ技能」が 20.6%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「社会問題に関するもの」の増加が目立ちます。一方、「健康・スポーツ」「自然体験や生活体験などの体験活動」などは減少がみられます。

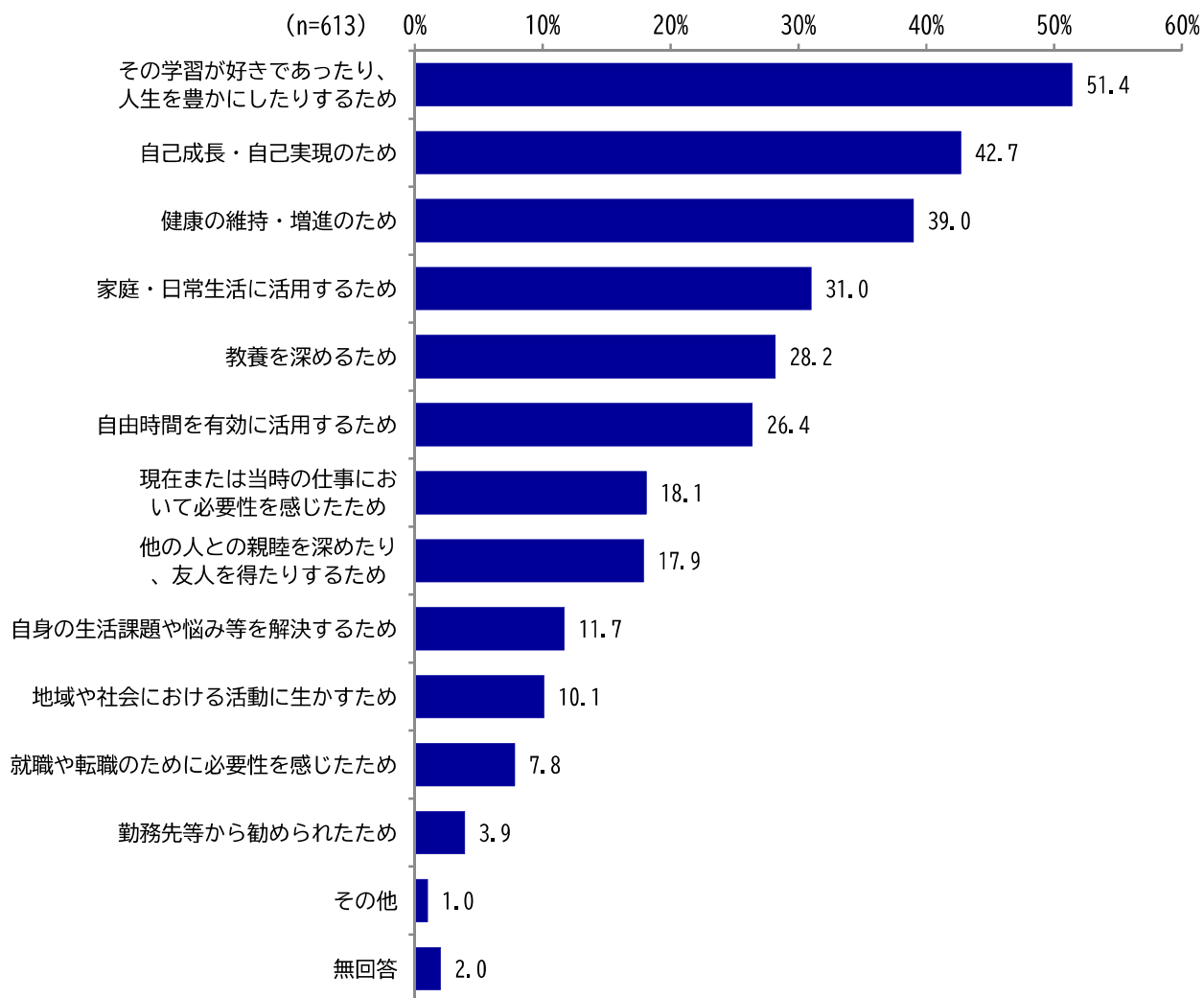


(3) 生涯学習をする目的

問 21 で学習をしている（「学習はしていない」以外）と答えた方におたずねします。

問 23 あなたが学習した（する）目的は何ですか。（当てはまるすべてに○）

- 「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」が 51.4%で最も高く、次いで「自己成長・自己実現のため」が 42.7%、「健康の維持・増進のため」が 39.0%と続いています。

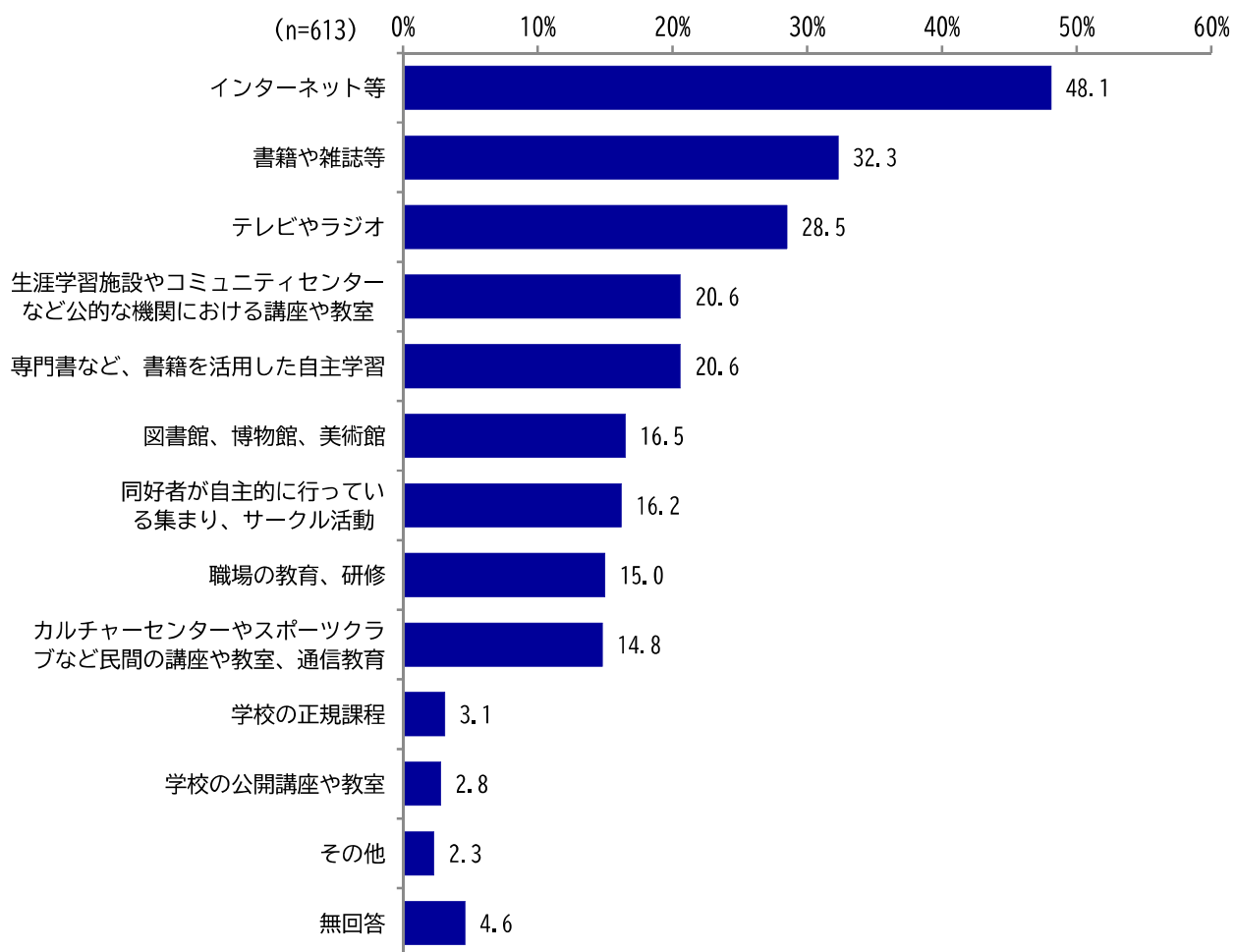


(4) 生涯学習の機会

問 21 で学習している（「学習はしていない」以外）と答えた方におたずねします。

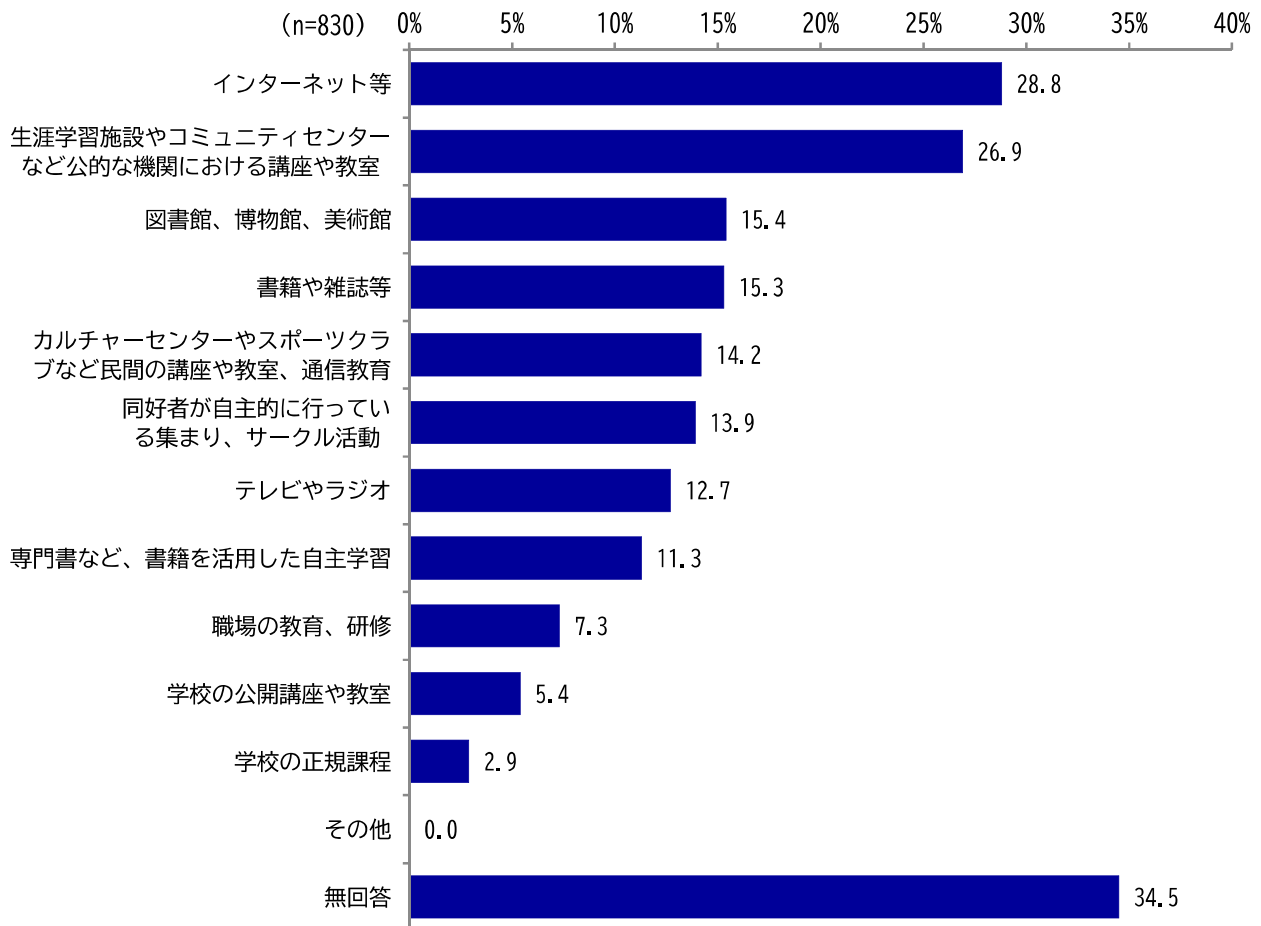
問 24 あなたは、どのような機会を利用して学習していますか。（当てはまるすべてに○）

- 「インターネット等」が48.1%で最も高く、次いで「書籍や雑誌等」が32.3%、「テレビやラジオ」が28.5%と続いています。



問 25 あなたは、今後どのような機会を利用して学習したいですか。(継続を含む) 上記から3つまで選んで番号をご記入ください。(※利用したい機会がなければ無記入)

➤ 「インターネット等」が28.8%で最も高く、次いで「書籍や雑誌等」が26.9%、「テレビやラジオ」が15.4%と続いています。

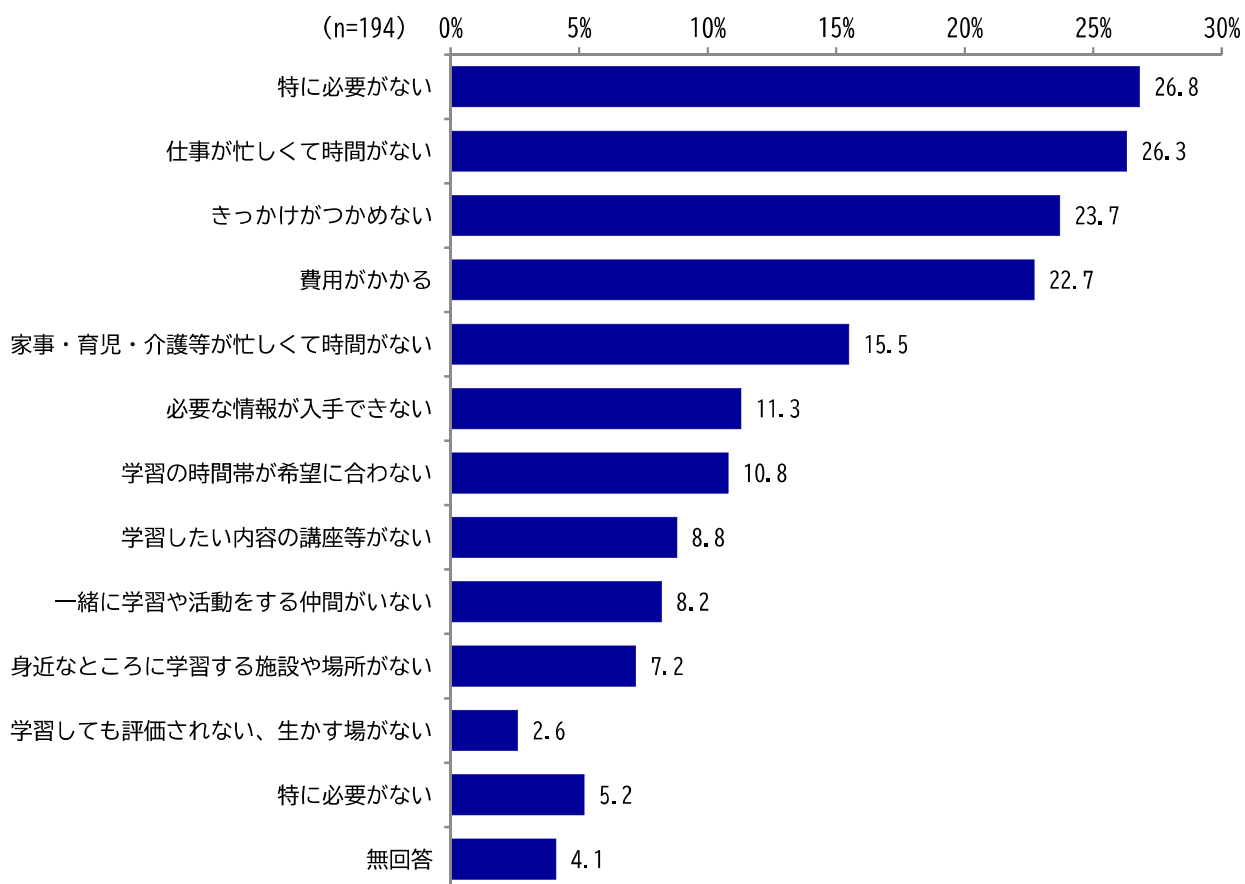


(5) 生涯学習をしていない理由

問 21 で「学習はしていない」と答えた方におたずねします。

問 26 あなたが学習していない理由は何ですか。(当てはまるすべてに○)

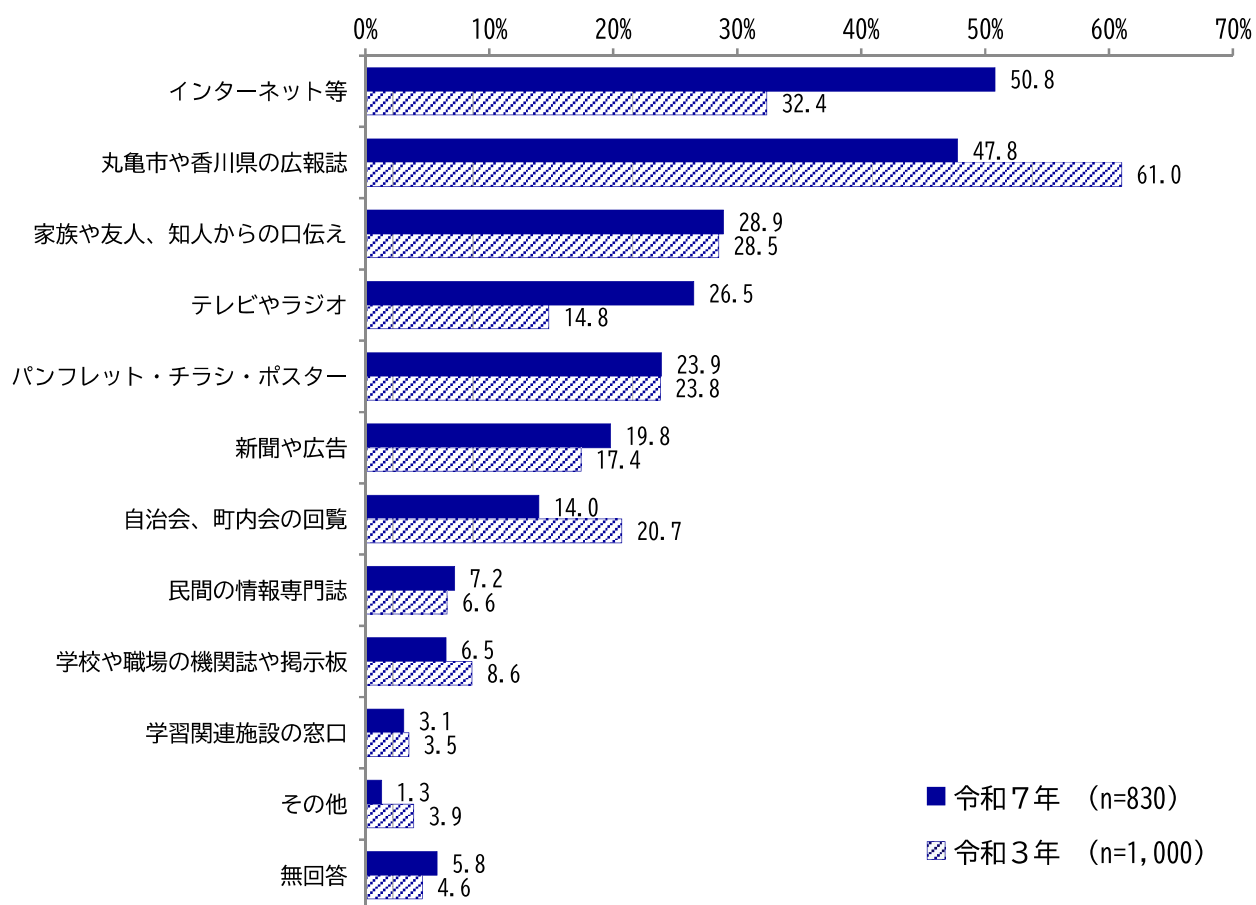
- 「特に必要がない」が 26.8%で最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が 26.3%、「きっかけがつかめない」が 23.7%、「費用がかかる」が 22.7%と続いています。



(6) 生涯学習に関する情報について

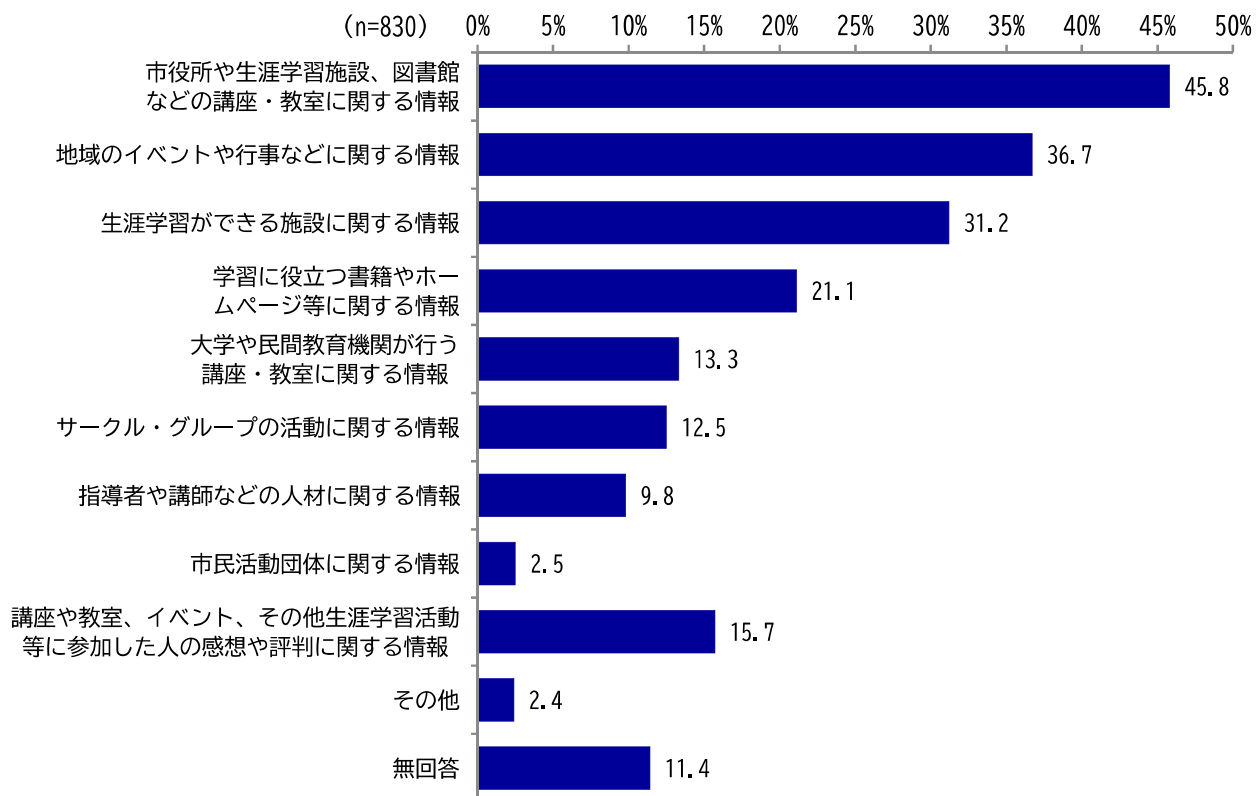
問 27 あなたは、学習に関する情報をどのように得ていますか。(当てはまるすべてに○)

- 「インターネット等」が 50.8%で最も高く、次いで「丸亀市や香川県の広報誌」が 47.8%、「家族や友人、知人からの口伝え」が 28.9%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「インターネット等」の増加が目立つ一方で、「丸亀市や香川県の広報誌」の減少も目立っています。



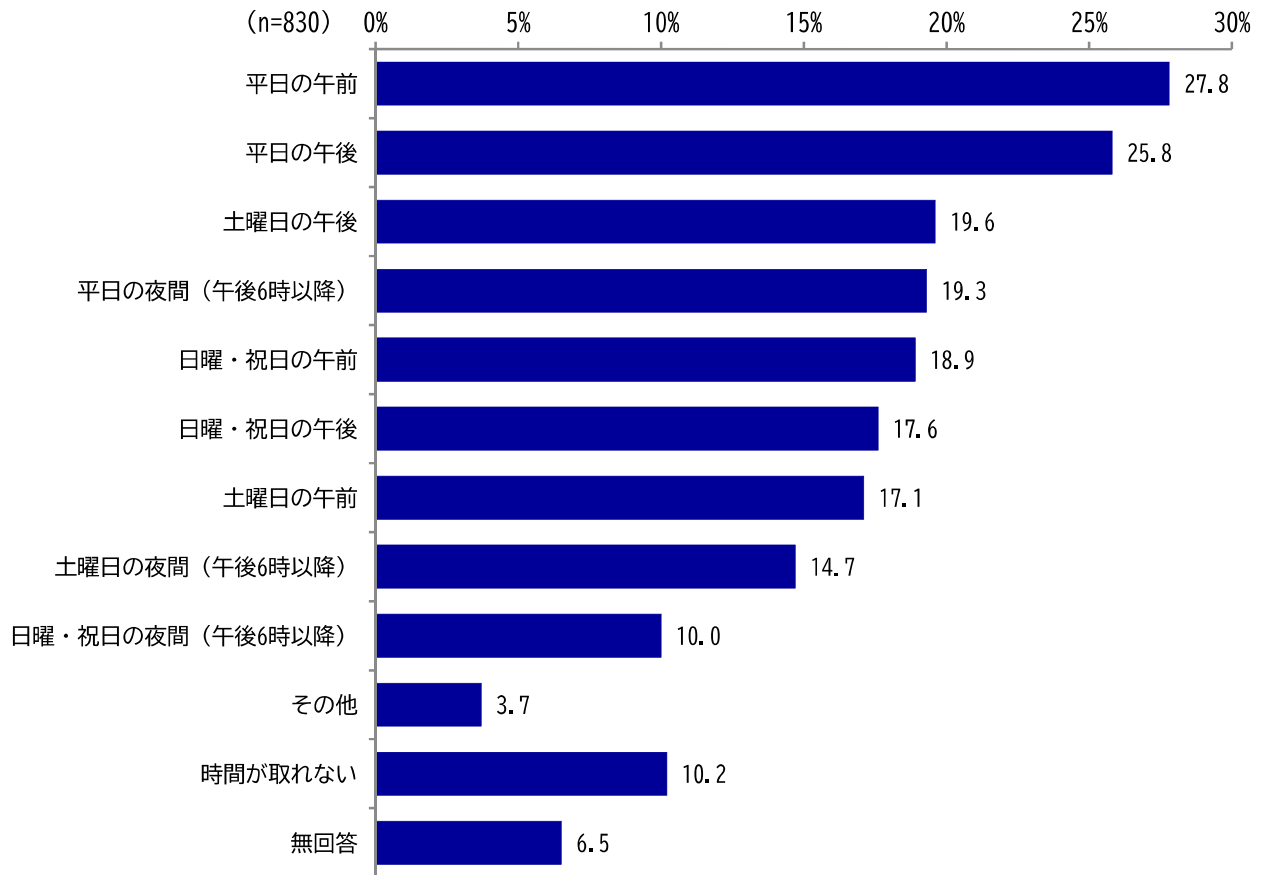
問 28 あなたは、学習に関してどのような情報があったら良いと思われますか。(3つまで○)

➤ 「市役所や生涯学習施設、図書館などの講座・教室に関する情報」が 45.8%で最も高く、次いで「地域のイベントや行事などに関する情報」が 36.7%、「生涯学習ができる施設に関する情報」が 31.2%と続いています。



問 29 あなたが学習しやすい時間帯はいつですか。(当てはまるすべてに○)

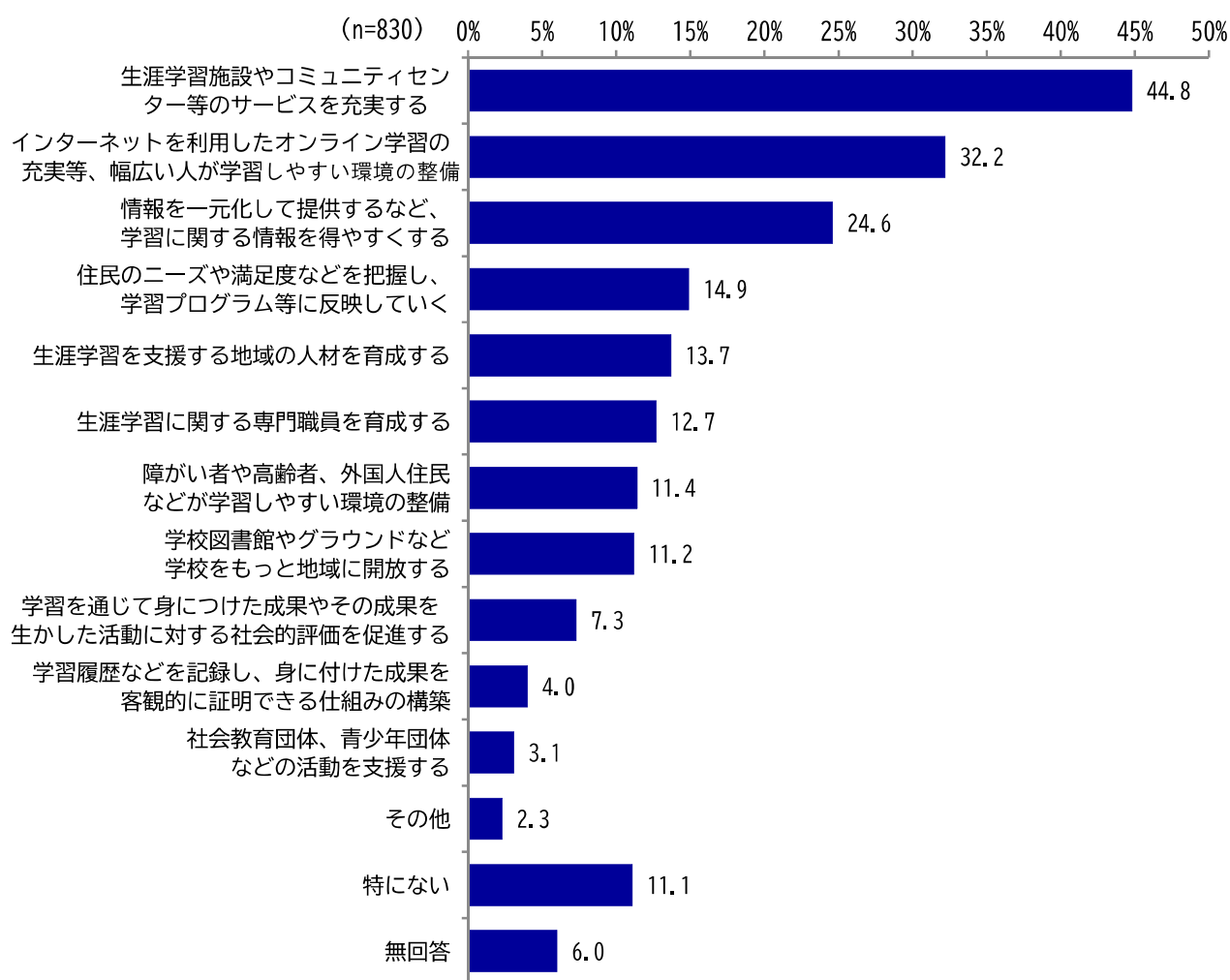
➤ 「平日の午前」が27.8%で最も高く、次いで「平日の午後」が25.8%、「土曜日の午後」が19.6%と続いています。



(7) 生涯学習に関して必要な取り組み

問 30 あなたは、これから丸亀市で生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような取り組みが大切だと思いますか。(3つまで○)

- ▶ 「生涯学習施設やコミュニティセンター等のサービスを充実する」が 44.8%で最も高く、次いで「インターネットを利用したオンライン学習の充実等、幅広い人が学習しやすい環境の整備」が 32.2%、「情報を一元化して提供するなど、学習に関する情報を得やすくする」が 24.6%と続いています。

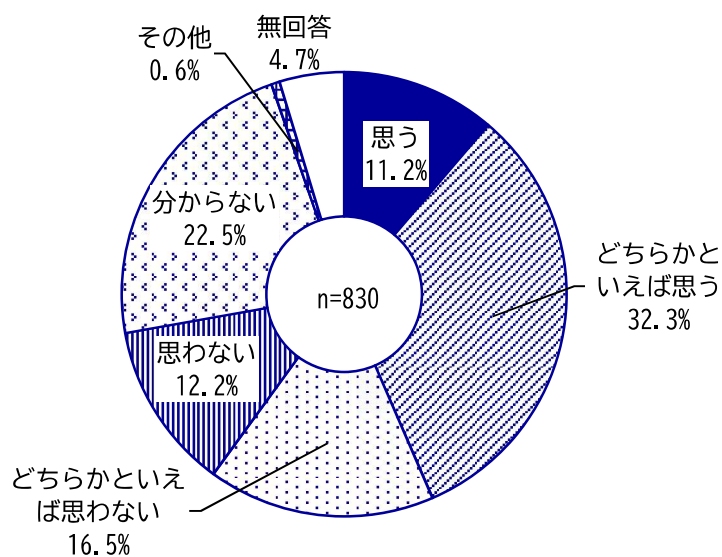


5 地域活動について

(1) 地域社会と生涯学習

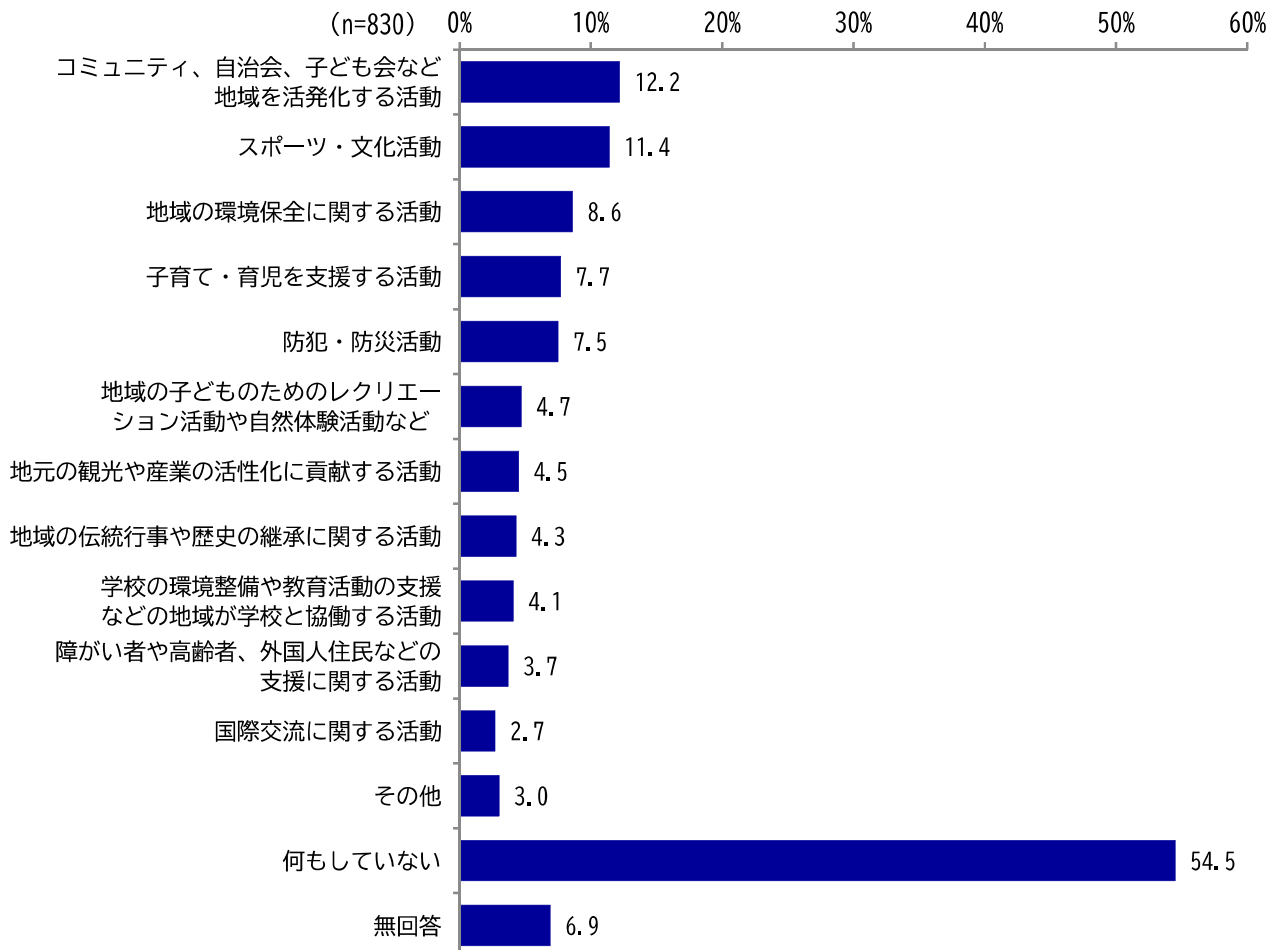
問 31 あなたは、学習の成果を地域社会で生かしたいと思いますか。(1つに○)

- 「どちらかといえば思う」が32.3%で最も高く、次いで「分からない」が22.5%、「どちらかといえば思わない」が16.5%と続いています。
- 「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『生かしたいと思う』割合は43.5%、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『生かしたいと思わない』割合は28.7%となっており、『生かしたいと思う』割合が上回っています。



問 32 あなたは、学習の成果をどのような活動で地域社会に生かしていますか。(当てはまるすべてに○)

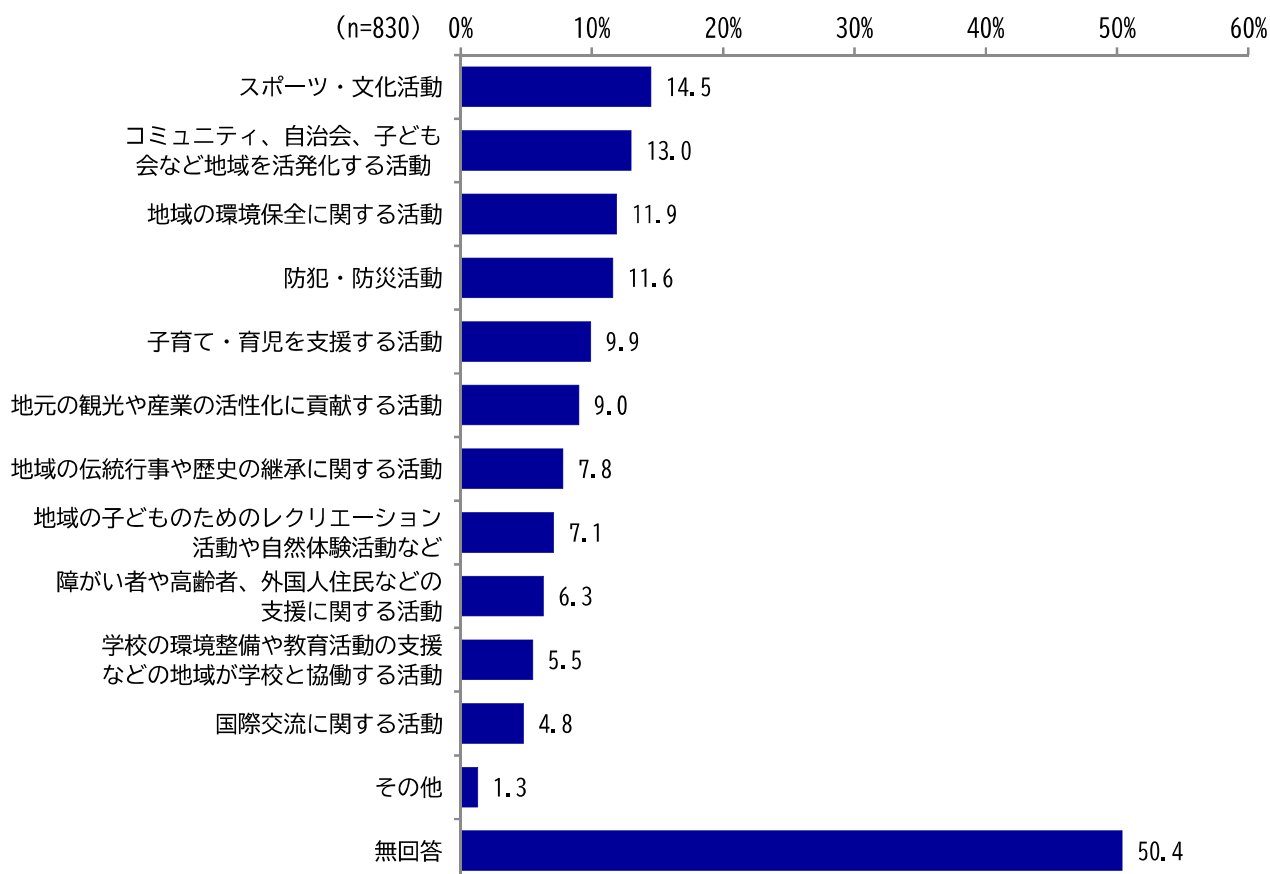
- ▶ 全体で見ると、主な活動内容としては「コミュニティ、自治会、子ども会など地域を活性化する活動」が12.2%、「スポーツ・文化活動」が11.4%、「地域の環境保全に関する活動」が8.6%と続いています。
- ▶ 「何もしていない」は54.5%となっており、その割合は突出しています。



(2) 地域活動への参加について

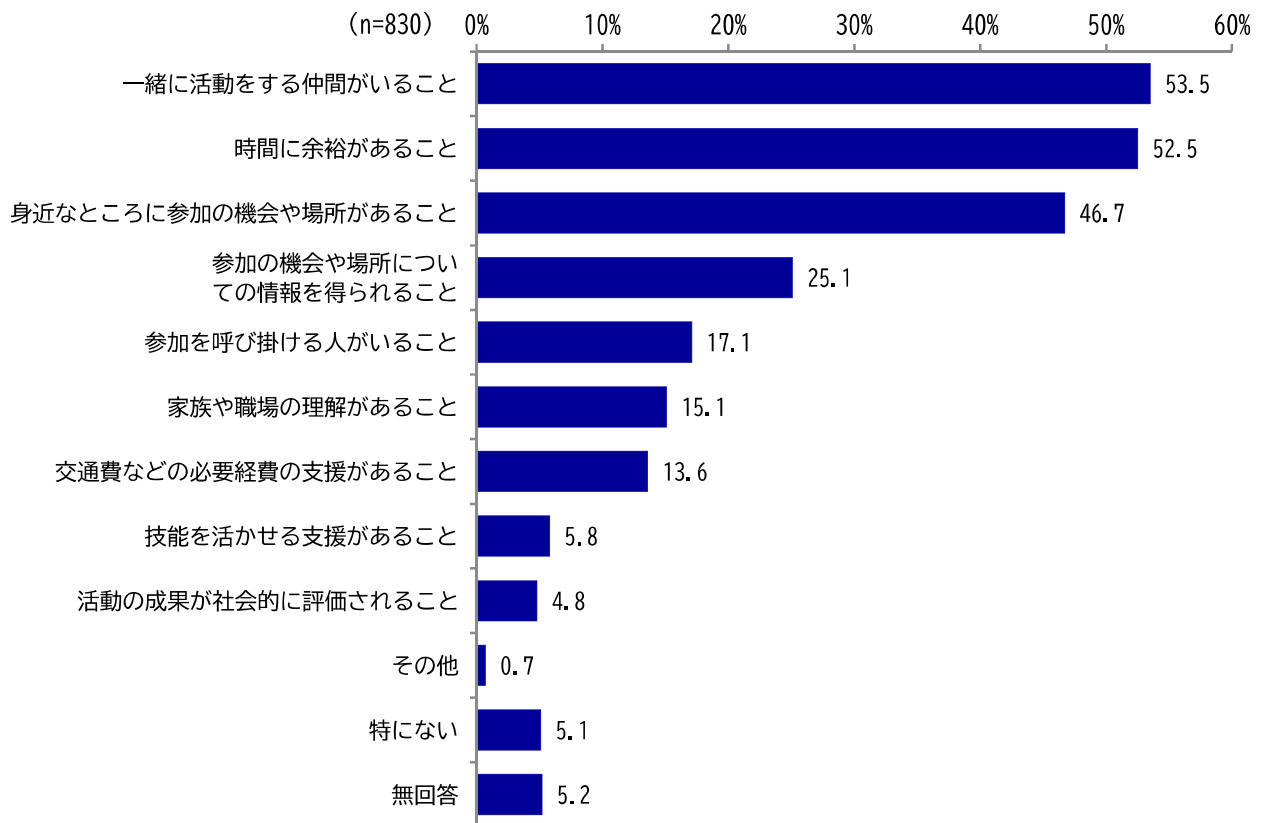
問 33 あなたは、今後どのような地域社会活動に参加したいですか。上記から3つまで選んで番号をご記入ください。（※参加したい活動がなければ無記入）

- 「スポーツ・文化活動」が 14.5%で最も高く、次いで「コミュニティ、自治会、子ども会など地域を活発化する活動」が 13.0%、「地域の環境保全に関する活動」が 11.9%と続いています。



問 34 多くの人が地域社会での活動に参加するために必要なことは何ですか。(3つまで〇)

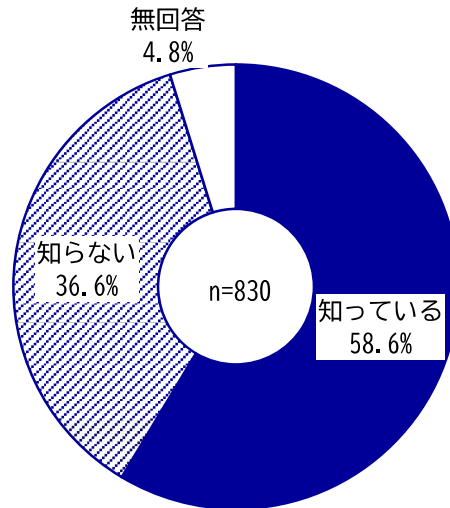
➤ 「一緒に活動をする仲間がいること」が 53.5%で最も高く、次いで「時間に余裕があること」が 52.5%、「身近なところに参加の機会や場所があること」が 46.7%と続いています。



(3) 地域学校協働活動について

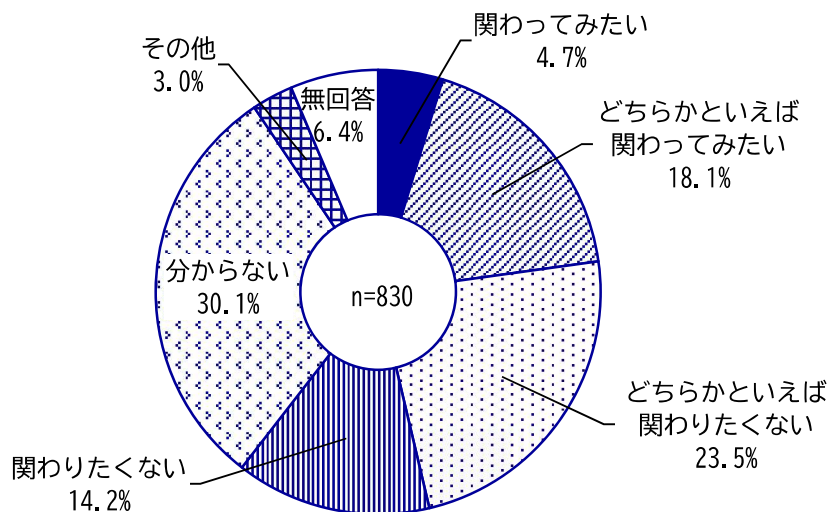
問 35 現在市内では、地域の方が中心となって、学校の子どもの見守りや交流、授業の補助、体験活動、放課後子供教室など、地域と学校が協働する活動（地域学校協働活動）が各小学校区で行われています。あなたは、この活動を知っていますか。（1つに○）

➤ 「知っている」が 58.6%、次いで「知らない」が 36.6%となっています。



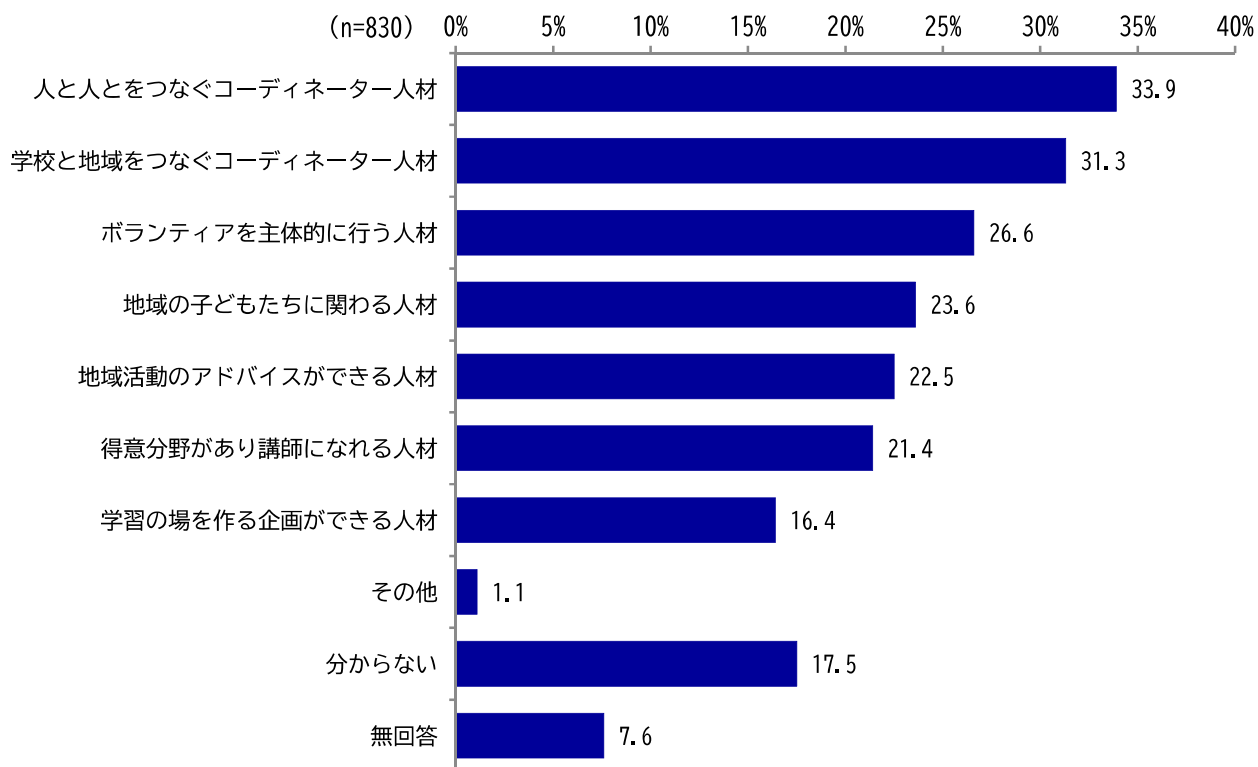
問 36 あなたは、地域学校協働活動に関わってみたいと思いますか。（1つに○）

➤ 「分からない」が 30.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば関わりたくない」が 23.5%、「どちらかといえば関わってみたい」が 18.1%と続いています。



問 37 あなたは、地域学校協働活動を盛んにするために、どのような役割の人材が必要と思いますか。
(3つまで○)

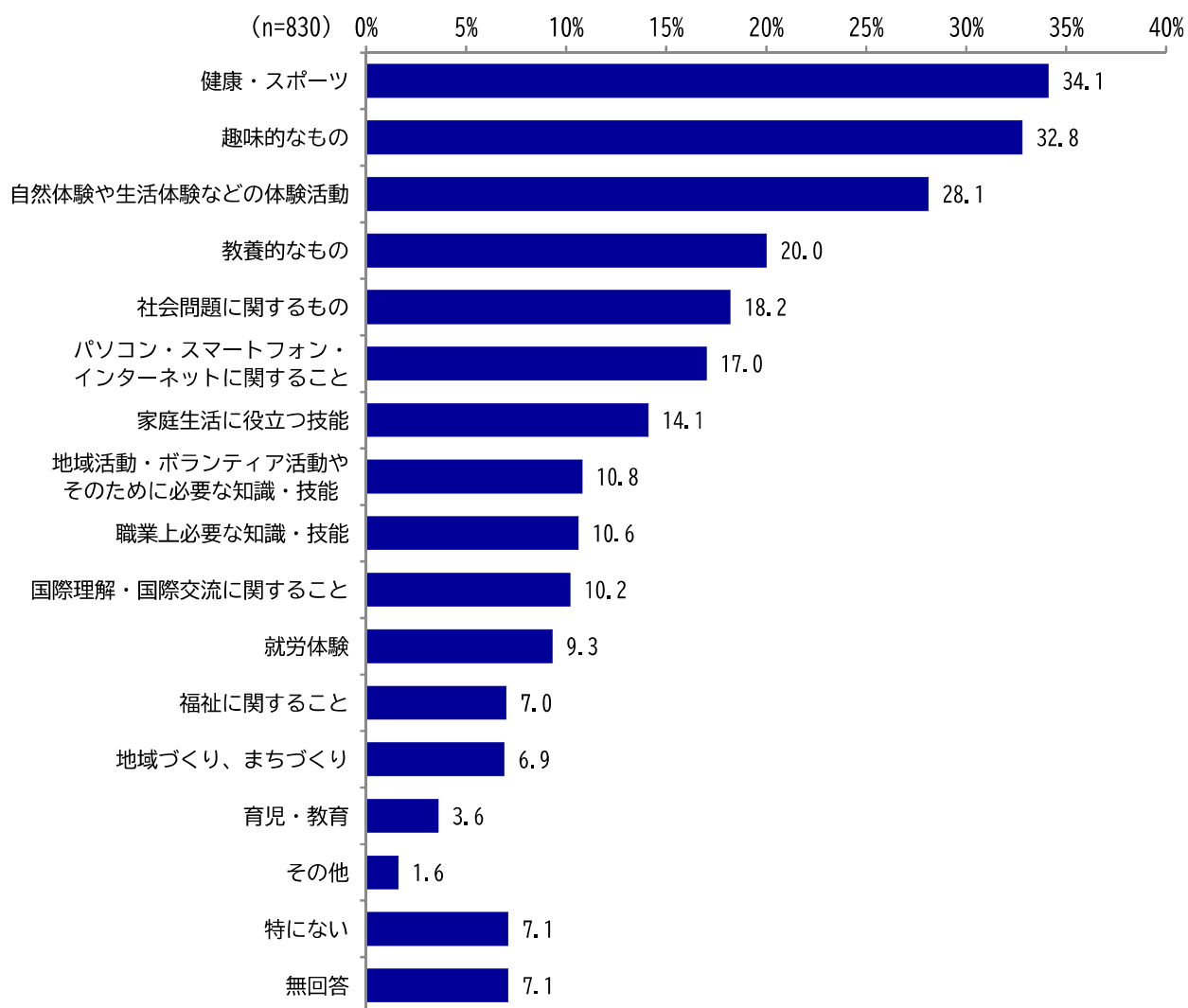
➤ 「人と人をつなぐコーディネーター人材」が33.9%で最も高く、次いで「学校と地域をつなぐコーディネーター人材」が31.3%、「ボランティアを主体的に行う人材」が26.6%と続いています。



(4) 学校以外の場で子どもに学ばせたいこと

問 38 あなたは、学校以外の場で、子どもに特にどんなことを学ばせたいですか。(3つまで○)

▶ 「健康・スポーツ」が 34.1%で最も高く、次いで「趣味的なもの」が 32.8%、「自然体験や生活体験などの体験活動」が 28.1%と続いています。

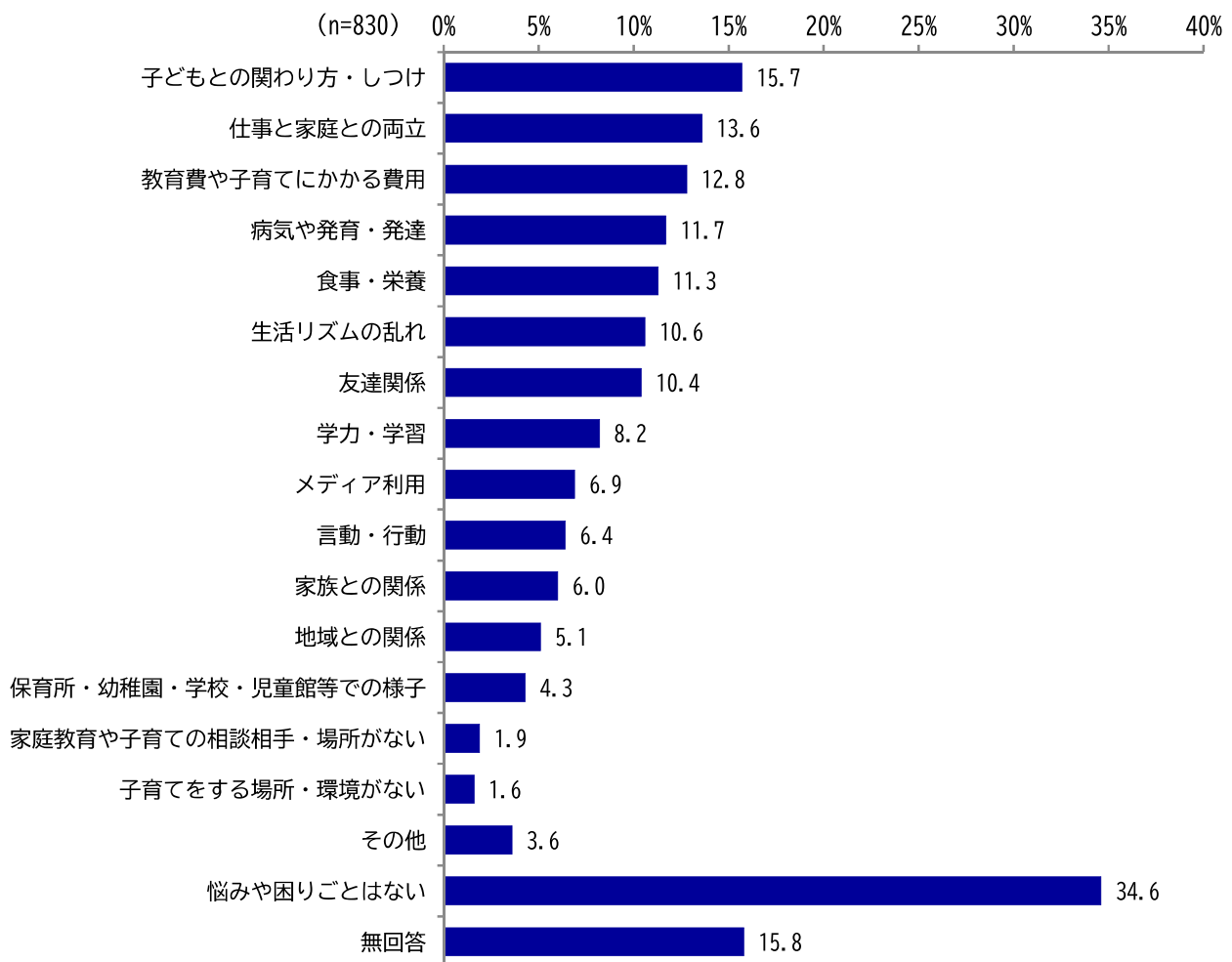


6 家庭教育について

(1) 家庭教育での悩み

問 39 あなたは、家庭教育・子育てについて悩みや困りごとはありますか。(当てはまるすべてに○)

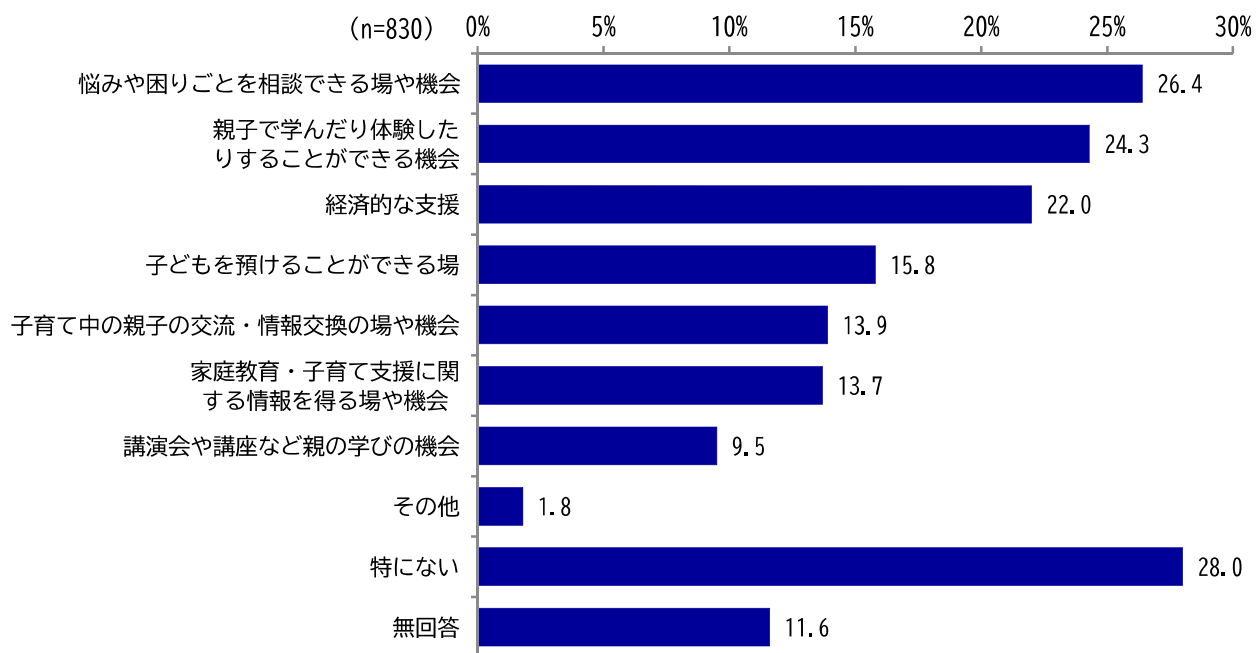
- 「子どもとの関わり方・しつけ」が15.7%、「仕事と家庭との両立」が13.6%、「教育費や子育てにかかる費用」が12.8%と続いています。
- 「悩みや困りごとはない」は34.6%で最も高くなっています。



(2) 利用したい子育て支援

問 40 あなたは、どのような家庭教育・子育て支援があったら利用したいですか。(3つまで○)

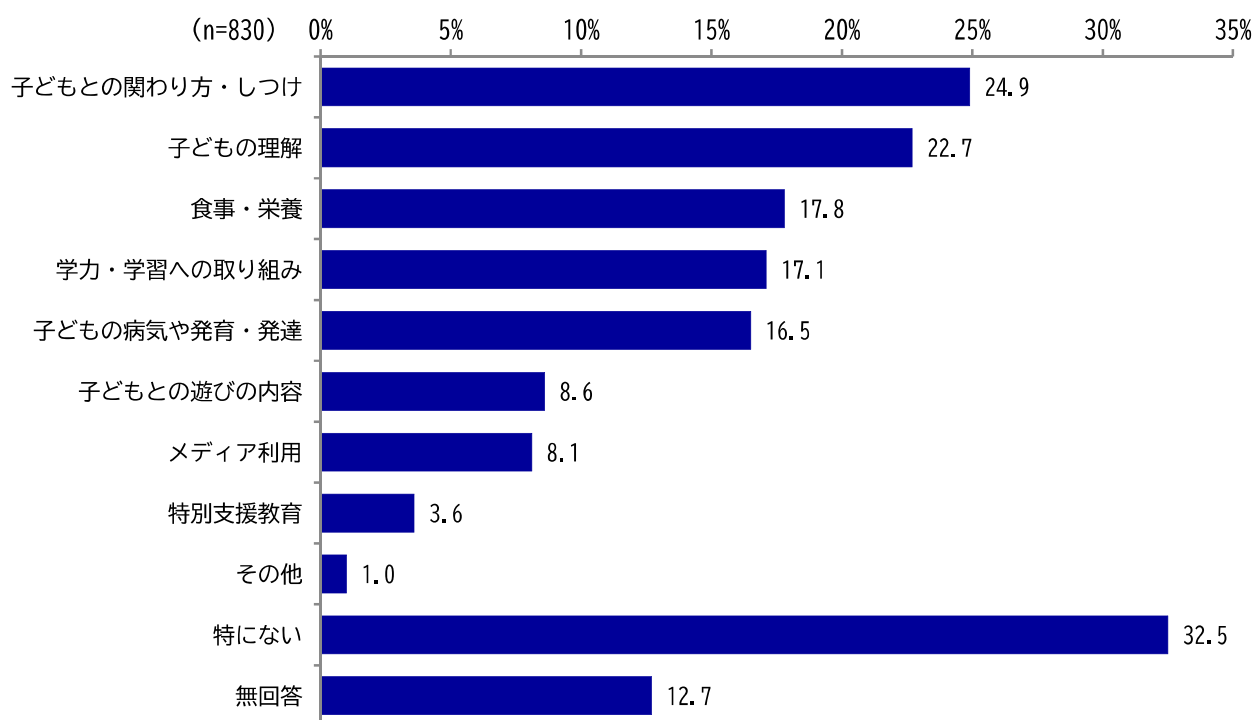
- 「悩みや困りごとを相談できる場や機会」が 26.4%、「親子で学んだり体験したりすることができる機会」が 24.3%、「経済的な支援」が 22.0%と続いています。
- 「特にない」は 28.0%で最も高くなっています。



(3) 家庭教育・子育てに関して学びたいこと

問 41 あなたは、どのような家庭教育・子育てに関する学びの機会があったら参加したいですか。
(3つまで○)

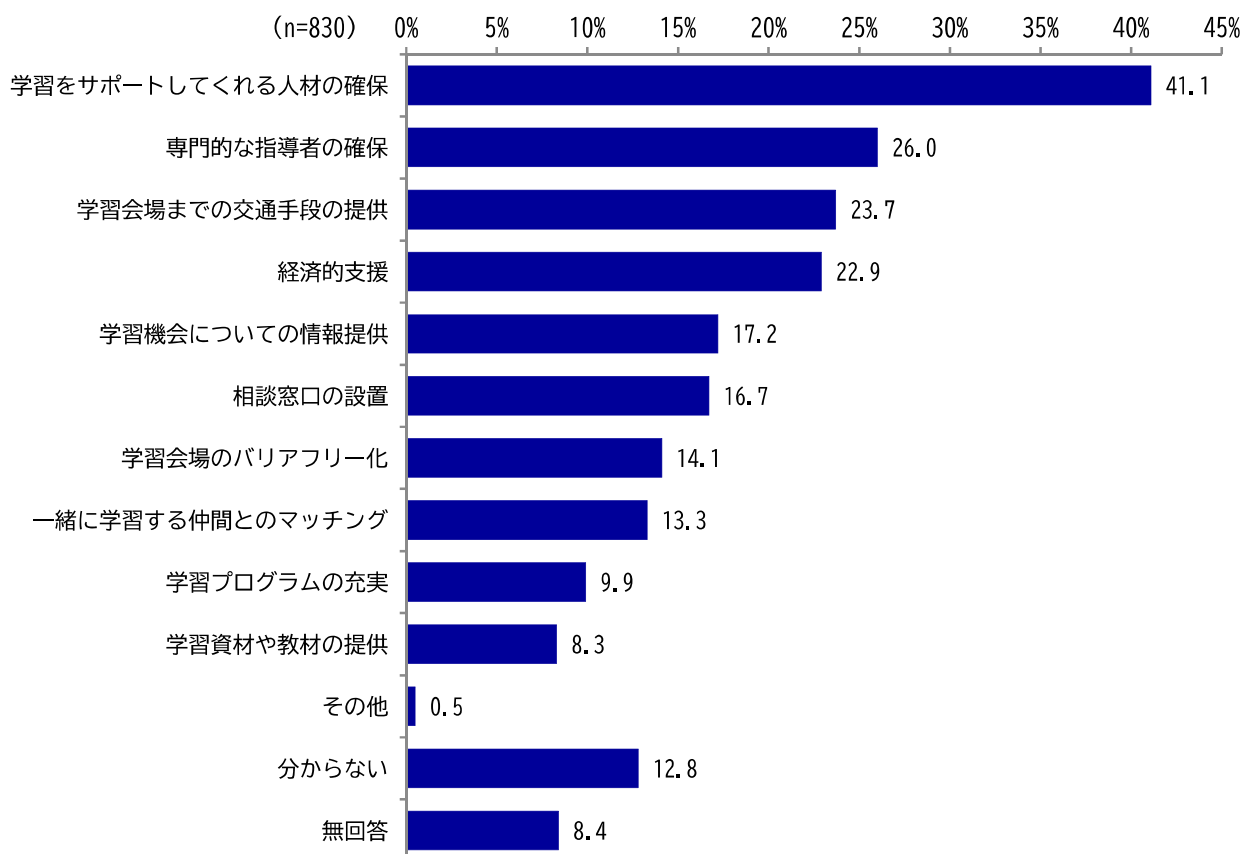
- 「子どもとの関わり方・しつけ」が 24.9%、「子どもの理解」が 22.7%、「食事・栄養」が 17.8%と続いています。
- 「特にない」は 32.5%と最も高くなっています。



(4) ケアが必要な人への支援

問 42 あなたは、ケアを必要とする人が学習を行うにあたり、どのような支援があれば良いと思いますか。(3つまで○)

➤ 「学習をサポートしてくれる人材の確保」が 41.1%で最も高く、次いで「専門的な指導者の確保」が 26.0%、「学習会場までの交通手段の提供」が 23.7%と続いています。

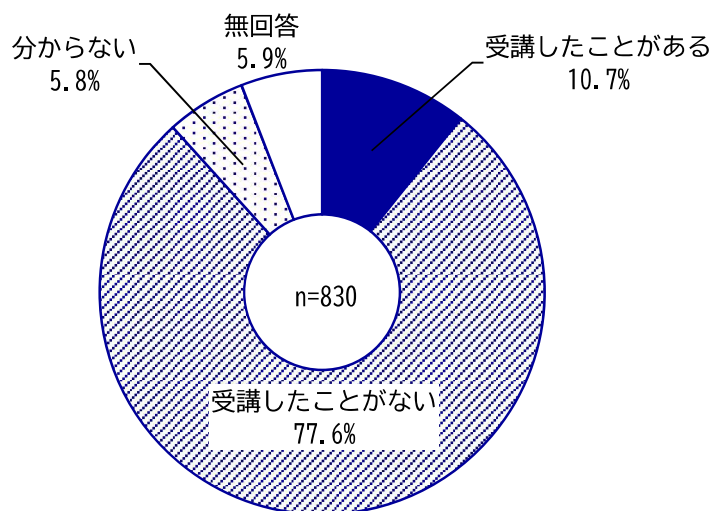


7 今後の生涯学習について

(1) 「丸亀市民学級」の受講経験

問 43 あなたは、丸亀市が実施している「丸亀市民学級」をこれまでに受講したことがありますか。
(1つに○)

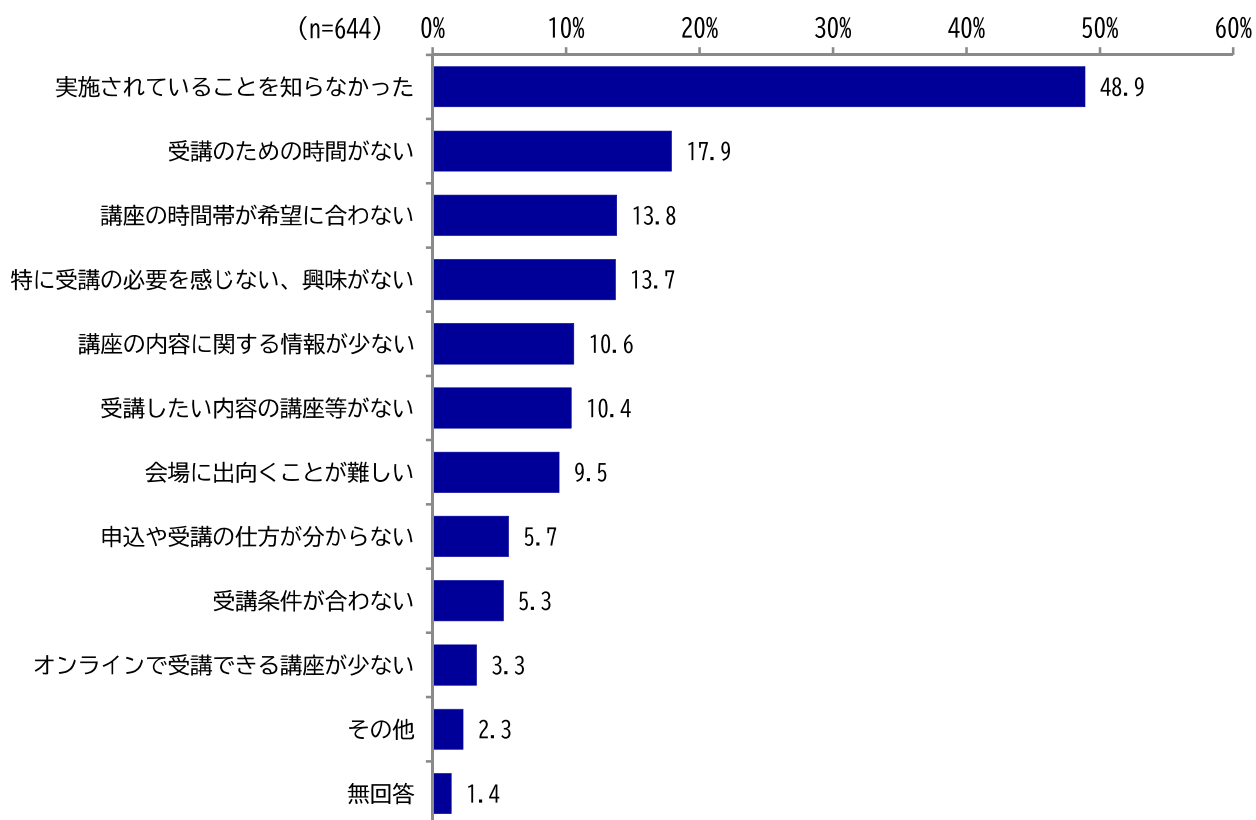
➤ 「受講したことがない」が 77.6%で最も高く、次いで「受講したことがある」が 10.7%、「分からない」が 5.8%と続いています。



問 43 で「受講したことがない」と答えた方におたずねします。

問 44 あなたが、「丸亀市民学級」を受講したことがない理由は何ですか。(当てはまるすべてに○)

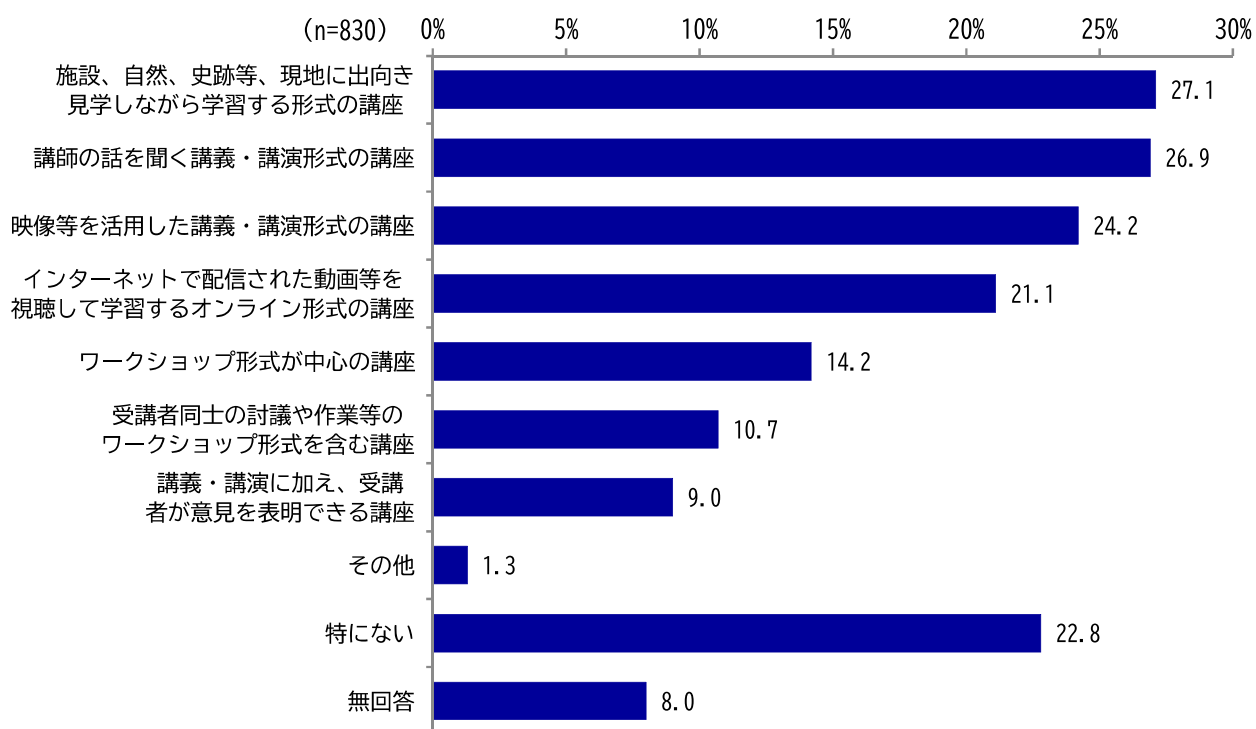
➤ 「実施されていることを知らなかった」が 48.9%で最も高く、次いで「受講のための時間がない」が 17.9%、「講座の時間帯が希望に合わない」が 13.8%と続いています。



(2) 理想的な講座形式

問 45 どのような進め方（形式）の講座であれば、あなたは市民向けの学習講座を受講したいと思いませんか。（3つまで○）

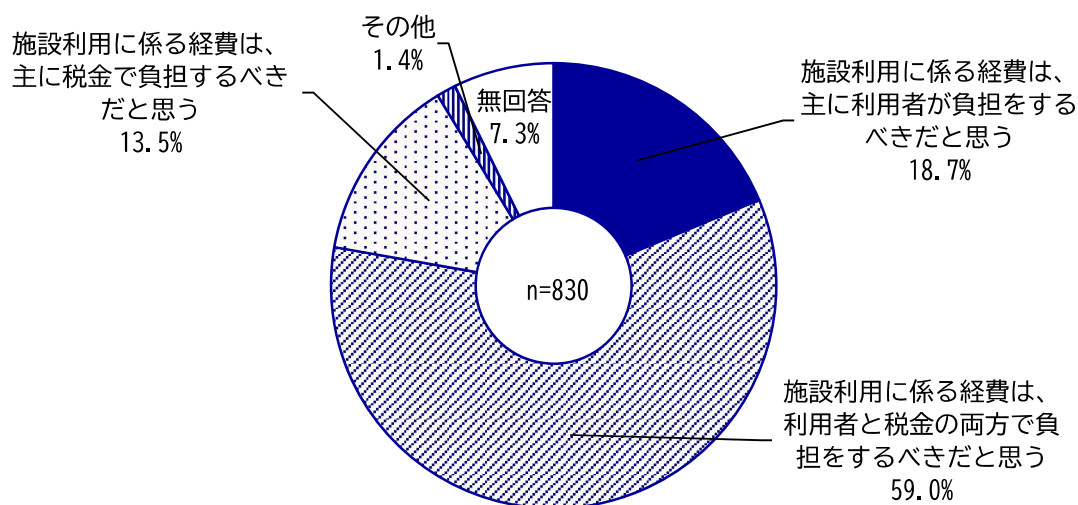
- 「施設、自然、史跡等、現地に出向き見学しながら学習する形式の講座」が 27.1%で最も高く、次いで「講師の話を聞く講義・講演形式の講座」が26.9%、「映像等を活用した講義・講演形式の講座」が24.2%と続いています。



(3) 施設運営の経費負担について

問 46 現在、公共の生涯学習施設の維持・運営には皆様の税金が使われています。今後も施設を維持・運営していくために、施設の利用者に一定の利用料金（施設利用料や観覧料等）を負担していただくことで、施設の維持・運営経費の一部に充てる「受益者負担」という考え方があります。このことについて、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- 「施設利用に係る経費は、利用者と税金の両方で負担をすべきだと思う」が 59.0%で最も高く、次いで「施設利用に係る経費は、主に利用者が負担をすべきだと思う」が18.7%、「施設利用に係る経費は、主に税金で負担をすべきだと思う」が13.5%と続いています。



自由記載 これからの生涯学習推進について、ご意見があればご自由にご記入ください。

- 自由意見については合計 100 件の意見が寄せられました。内訳は以下の通りとなっています。

意見の内容	件数
生涯学習活動について	22
講座・人材の充実について	19
生涯学習施設について	16
情報発信について	12
アンケート調査について	9
まちづくりについて	6
税金など経済的負担について	5
交通手段について	5
その他	6
合計	100

第5次丸亀市生涯学習推進計画

令和8年4月1日 策定

編集・発行 丸亀市協働推進部まなび文化課

〒763-8501

香川県丸亀市大手町二丁目4番21号

TEL 0877-35-7628

FAX 0877-24-8863

無断転載・複製を禁じます